
第2次磐田市総合計画
後期基本計画

実施計画書
(令和5年度 - 令和7年度)

令和5年9月
磐田市

目 次

① 実施計画の位置付け	1
② 実施計画の目的と期間	2
③ 実施計画策定にあたっての基本的な考え方	2
④ 実施計画の対象事業	2
⑤ 計画期間内の分野別事業費	3
⑥ 実施計画の構成	4
⑦ 実施計画事業	
分野1 産業・雇用・観光・移住定住	6
分野2 自治・スポーツ・文化・歴史・共生	17
分野3 子育て・教育	28
分野4 健康・福祉	43
分野5 防災・消防・安全安心	57
分野6 都市基盤・環境	69

1

実施計画の位置付け

本市では、第1次磐田市総合計画の計画期間終了に伴い、平成29年3月に「たくさんの元気と笑顔があふれるまち 磐田 ～今までも、これからもずっと磐田～」をまちの将来像とする第2次磐田市総合計画を策定しました。今後は、このまちの将来像の実現に向けて、総合的・計画的に取り組んでいきます。

実施計画は、こうしたまちづくりを着実に推進するため、具体的な事業や実施方法等をまとめた計画として策定したものです。

【計画の構成】



基本構想

■平成29年度～令和8年度
まちづくりの基本的な考え方を示す「理念」、目指す「将来像」、これを実現するための「基本施策」をまとめたもの

基本計画

■前期：平成29年度～令和3年度
■後期：令和4年度～令和8年度
基本構想に基づき、計画期間内の基本的な施策を体系的に示したもの

実施計画

■3カ年(毎年度ローリング)
基本計画に位置付けられた各施策の具体的な実施方法等をまとめたもの

2

実施計画の目的と期間

実施計画とは、本市が目指すまちの将来像の実現に向け、後期基本計画に掲げる施策の方向性に基づいて実施する主要な事業について、事業内容と実施時期等を明らかにし、行財政運営の指針とするものです。

また、この計画は、社会経済情勢などの変化に柔軟に対応するとともに、財政状況を的確に反映させるため、ローリング方式により毎年度更新をしていきます。

この実施計画の計画期間は、令和5年度から令和7年度までの3年間とします。

3

実施計画策定にあたっての基本的な考え方

実施計画の策定にあたっては、以下の視点に基づき策定することとしています。

- (1) 財政状況等を考慮し、事業の重要度・緊急度・優先度を総合的に勘案した上で、持続可能で磐田市の「未来を守る」「未来を創る」ことにつながる計画とする。
- (2) 実施計画に掲げる事業は、実施時期・実施箇所・事業規模等の事業内容を明確にし、市民に対し分かりやすいものとする。
- (3) 後期基本計画に設定した「5つの安心プロジェクト」に関する施策を重点的に推進する。

4

実施計画の対象事業

後期基本計画に示した施策を推進する上で、特に主要な事業として、実施を予定するもののうち、下記の要件を満たす事業を対象とします。

なお、コスト（事業費）が発生しない事業であっても、主要な事業に位置づけられるものは対象とします。

- (1) 後期基本計画の各分野に示された施策と主な取組みに当てはまる事業
- (2) 総事業費が1億円以上のハード事業
※国・県・民間などが事業主体で、市が1億円以上の事業費を負担・助成するものを含む。
- (3) 後期基本計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略に示した施策の推進に向けた主要なソフト・ハード事業

■後期基本計画における「取組分野7 行財政改革」に係る事業については、別途策定した『第4次磐田市行財政改革実施計画』にて取組みを進めています。

5

計画期間内の分野別事業費

対象事業の考え方に基づき算出した取組分野ごとの事業費です。

なお、この計画に掲載された事業の実施については、社会情勢や財政状況の変化により、計画の変更・中止なども充分あり得ることから、必ずしも予算化を約束するものではありません。

(主要事業 事業費ベース)

単位：百万円

	3カ年事業費	財 源			
		一般財源 (その他収入含む)	特定財源 (国・県支出金)	特定財源 (市債)	
【分野1】 産業・雇用・観光・移住定住	2,474	2,006	410	58	
	2,474	2,006	410	58	
【分野2】 自治・スポーツ・文化・歴史・ 共生	3,727	2,135	534	1,058	
	3,727	2,135	534	1,058	
【分野3】 子育て・教育	15,772	5,208	3,428	7,136	
	15,772	5,208	3,428	7,136	
【分野4】 健康・福祉	3,018	2,229	789	0	
	4,880	3,144	1,736	0	
【分野5】 防災・消防・安全安心	14,969	5,987	282	8,700	
	16,830	6,816	812	9,202	
【分野6】 都市基盤・環境	7,742	3,511	2,585	1,646	
	14,778	5,385	3,988	5,405	
合 計	計(一般会計分)	47,702	21,076	8,028	18,598
	計(全事業)	58,461	24,694	10,908	22,859

※上段は一般会計事業分、下段は、特別会計・企業会計の事業分を含む。

6

実施計画の構成

分野ごとの施策の順番に、実施計画事業の計画内容について掲載しています。

分野 1

産業・雇用・観光・移住定住

1

実施計画事業


基本施策 1 元気な農林水産業の育成

2

施策の内容

- (1) 担い手の育成・確保を行い“新しい農業”を創出します
- (2) 農林水産資源の保全を図ります
- (3) 農林水産資源を活かした魅力の発信を進めます

実施計画事業

No	※1 未来と仕事の安心		※2 総合戦略
1	特産品（海老芋）承継事業 3		
事業概要	本市の特産品である海老芋の栽培農家の減少、高齢化を踏まえるため、JA や生産者等と連携し、担い手育成や承継事業の仕組みを構築し、日本一の産地維持・拡大を目指す。 4		
担当課名	農林水産課	概算事業費（千円）	9,800 5
事業内容	R5	R6	R7
	6  新規就農者育成総合対策経営開始資金の交付 海老芋で新規就農を目指す研修生に交付金を支給 技術指導をJAIに委託 海老芋のPR 方法の検討		
指標	新規就農者育成総合対策経営開始資金の交付人数		
目標値	R5	R6	R7
	2人	2人	3人
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	2人	3人	A 目標値以上
8 令和4年度は1名への研修事業を行い、認定新規就農者となるとともに、令和5年3月に独立・就農することとなった。令和5年度も2名の研修を実施する。 今後も農地の確保を継続的かつ迅速に行う必要がある。また、農業用機械の承継や国の補助金も活用しながらスムーズな就農を進めることにより、産地維持・拡大に繋げたい。			

- ① 分 野 … 分野名を記載しています。
- ② 基本施策 … この分野で示している基本施策を記載しています。
- ③ 事業名 … 実施計画事業名（事務事業名等）を記載しています。
 ※1 後期基本計画の中で、分野横断的に重点的に取り組む内容としている「5つの安心プロジェクト」の該当する項目を表示しています。
 ※2 まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載されている事業は「総合戦略」と表示しています。
- ④ 事業概要 … 事業の内容を簡単に記載しています。
- ⑤ 概算事業費 … 3年間の事業内容に要する経費を記載しています。事業費を要しない場合は「一」で表示しています。【単位：千円】
- ⑥ 事業内容 … 各年度に実施する事業内容を記載しています。前年度と同内容の場合は「➡」で表示しています。
- ⑦ 指標と目標値 … 指標と各年度に達成すべき目標値を記載しています。
- ⑧ 実 績 … 前年度の目標値・実績値・評価・詳細内容を記載しています。評価は下記の評価区分に応じて表示しています。

評価	内容
A	目標値以上
B	目標値の70～100%未満
C	目標値の70%未満
D	実績値等発表前、当該年度に調査なし等

7

実施計画事業

分野 1

産業・雇用・観光・移住定住

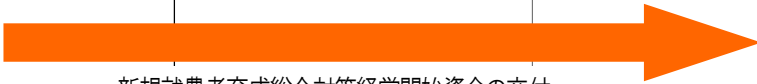
実施計画事業


基本施策 1 元気な農林水産業の育成

施策の内容


- (1) 担い手の育成・確保を行い“新しい農業”を創出します
- (2) 農林水産資源の保全を図ります
- (3) 農林水産資源を活かした魅力の発信を進めます

実施計画事業

No	1		未来と仕事の安心	総合戦略
事業名	特産品（海老芋）承継事業			
事業概要	本市の特産品である海老芋の栽培農家の減少、高齢化に対応するため、JAや生産者等と連携し、担い手育成や承継事業の仕組みを構築し、日本一の産地の維持・拡大を目指す。			
担当課名	農林水産課	概算事業費（千円）	9,800	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>新規就農者育成総合対策経営開始資金の交付 海老芋で新規就農を目指す研修生に交付金を支給 技術指導をJAIに委託 海老芋のPR方法の検討</p>			
指標	新規就農者育成総合対策経営開始資金の交付人数			
目標値	R5	R6	R7	
	2人	2人	3人	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	2人	3人	A 目標値以上	
<p>R4は1名への研修事業を行い、認定新規就農者となるとともに、R5.3月に独立・就農することとなった。R5も2名の研修を実施する。</p> <p>今後も農地の確保を継続的かつ迅速に行う必要がある。また、農業用機械の承継や国の補助金も活用しながらスムーズな就農を進めることにより、産地維持・拡大に繋げたい。</p>				

No	2		未来と仕事の安心	総合戦略
事業名	耕作放棄地対策事業			
事業概要	農地の有効利用を促進するため、耕作放棄地対策事業の支援を行う。また、若手農業者の経営力と、経営能力のある新規就農者を育成するため、先進的な農業法人に派遣し研修を実施する。			
担当課名	農林水産課	概算事業費 (千円)	13,500	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>荒廃農地対策事業費補助金の交付 新規就農者の農業法人への派遣研修の実施</p>			
指標	耕作放棄地の解消面積			
目標値	R5	R6	R7	
	0.70ha	0.70ha	0.70ha	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	0.70ha	0.95ha	A 目標値以上	
	<p>R4は、5件、0.95haの荒廃農地を解消した。 今後も、荒廃農地の解消のため、費用対効果の検証をするとともに、荒廃農地の発生を未然に防止する方法等を検討していく必要がある。 経営者育成事業を活用した新規就農者は、H29に2名が独立・自営就農して以降いないため、事業活用者の確保が課題となる。</p>			

No	3		未来と仕事の安心	
事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業			
事業概要	県営事業で造成した基幹的農業水利施設等の機能保全対策工事を行い、施設の長寿命化を図る ①中瀬排水機場 事業期間：R4～R7 ②浜部排水機場 事業期間：R4～R9 ③御厨排水機場 事業期間：R6～R9 ④草崎排水機場 事業期間：R7～R11 ⑤大池川排水機場 事業期間：R8～R12			
担当課名	農林水産課	概算事業費 (千円)	161,000	
事業内容	R5	R6	R7	
	更新施設負担金（中瀬・浜部排水機場）	更新施設負担金（中瀬・浜部・御厨排水機場）	更新施設負担金（中瀬・浜部・御厨・草崎排水機場）	
指標	確保すべき排水量（14 機場総排水能力 71.8 m ³ /S）			
目標値	R5	R6	R7	
	30.3 m ³ /S	30.3 m ³ /S	32.3 m ³ /S	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	30.3 m ³ /S	30.3 m ³ /S	A 目標値以上	
	<p>R4は、大池排水機場の改修工事が完了した。また、浜部・中瀬排水機場の改修に着手し、改修のための設計を行った。 今後は、14 排水機場のうち、10 機場が耐用年数を経過していることから、計画的な早期の改良が必要である。</p>			


No	4		未来と仕事の安心
事業名	農業基盤整備事業（竜洋東地区）		
事業概要	竜洋東地区において、農地所有者と耕作者が一丸となり、農地集積を推進しながら、国の認可を受けた県営事業として大規模な農業基盤整備を行う。 事業期間：R2～R6 事業内容：排水路工 4,143m 農道整備工 1,581m 区画整理工 7.4ha 受益面積：24.7ha		
担当課名	農林水産課	概算事業費（千円）	43,200
事業内容	R5	R6	R7
	 県営事業負担金		（事業完了予定）
指標	竜洋東地区の事業進捗率（事業費ベース）		
目標値	R5	R6	R7
	50.4%	100%	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	51.6%	48%	B 目標値の70%から100%未満
	県営事業として、静岡県中遠農林事務所が用地買収及び排水路設置工事を実施した。事業の進捗率は事業費ベースで48.0%。今後は、用地買収をさらに進め、排水路の整備を図る。県と情報共有を図るとともに、県と地権者との調整役として、事業の円滑な推進に努める。		


基本施策 2 中小企業等の競争力強化と企業立地の推進


施策の内容

- (1) ビジネスチャンスを生み出します
- (2) 地域企業の活動を支援します
- (3) 企業誘致を推進します
- (4) 地場産業の振興を図ります

実施計画事業

No	5		未来と仕事の安心	総合戦略
事業名	マーケティング支援事業			
事業概要	国内外において中小企業等の販路開拓を支援する			
担当課名	産業政策課	概算事業費 (千円)	18,138	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>国内外における中小企業等の販路開拓への支援 展示会等に出展する中小企業等の経費の一部を支援</p>			
指標	国内外の販路開拓に関心がある事業者への訪問件数(年間延べ件数)			
目標値	R5	R6	R7	
	150 件	160 件	160 件	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	140 件	120 件	B 目標値の 70%から 100%未満	
	コロナ禍で新たな経営課題に挑戦しようとする市内事業者の取組を支援するため、R2に既存の補助金（産業展示会等出展支援事業費補助金）を拡充し、事業者が幅広く利用できるよう新たに「販売力強化補助金」を制定した。R4の申請件数は 23 件（5,102,000 円）。R5は、現状課題となっている、新たな事業展開等のノウハウ不足解消に向けた支援（コンサルティング等）を強化するため、販路開拓に特化した「販路開拓支援補助金」を制定し、引き続き市内事業者を支援していく。			

No	6	未来と仕事の安心	
事業名	中小企業等承継支援事業		
事業概要	中小企業等の事業承継を支援する。		
担当課名	産業政策課	概算事業費(千円)	249
事業内容	R5	R6	R7
	 市内中小企業等の事業承継を支援		
指標	支援企業件数		
目標値	R5	R6	R7
	2件	2件	2件
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	2件	1件	C 目標値の70%未満
	磐田市事業承継支援ネットワーク会議を実施し、連携機関との情報交換を行った。引き続き、静岡県事業承継・引継ぎ支援センターや市内金融機関等の支援機関と連携し、事業承継に関する各種支援制度の情報発信や、支援対象となる事業者の掘り起こしと支援機関への繋ぎを推進する。		

No	7	未来と仕事の安心	
事業名	首都圏連携コーディネーター事業		
事業概要	本市企業等と首都圏の人、企業等のマッチングにより、新たなビジネスモデルの創出や連携、誘致等に取り組み、本市の産業活性化と地域課題の解決を図る。		
担当課名	産業政策課	概算事業費(千円)	22,866
事業内容	R5	R6	R7
	 首都圏コーディネーターとの情報交換 首都圏拠点の活用 市の情報発信 首都圏企業や人材とのマッチング 企業交流会の実施		
指標	首都圏企業とのマッチング件数		
目標値	R5	R6	R7
	20件	20件	20件
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	10件	20件	A 目標値以上
	地域産業の活性化と地域課題の解決のため、首都圏連携コーディネーターを配置している都内の活動拠点を中心に企業等の情報収集を行い、首都圏企業等との広域でのマッチング件数20件(うち、成立事例14件)を創出した。今後も本市の魅力や課題を首都圏で発信しながら、連携事例の創出に取り組む。		


No	8		未来と仕事の安心	総合戦略
事業名	企業立地推進事業			
事業概要	市内への企業立地を積極的に推進するため、工場や次世代産業施設等の新增設を行う企業への支援や企業誘致活動を行う。			
担当課名	産業政策課	概算事業費 (千円)	1,946,590	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>企業誘致活動 市内で工場等の新增設を行う企業への支援 企業訪問による情報収集</p>			
指標	企業立地に関する事業者への訪問件数 (年間延べ数)			
目標値	R5	R6	R7	
	200 件	200 件	200 件	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	200 件	315 件	A 目標値以上	
	企業の立地相談に応じ、7社の誘致ができた。用地を求める企業の洗い出しや移転に伴う雇用の確保支援をしながら、今後も企業ニーズや社会状況を踏まえた支援を続ける必要がある。			

基本施策 3 産業を担う人材の育成・就労の支援

施策の内容

- (1) 求職者等就労支援体制を構築します
- (2) 創業・起業を支援します
- (3) 若者・女性の就労を支援します
- (4) 障がい者・高齢者の就労を支援します

実施計画事業


No	9		未来と仕事の安心	総合戦略
事業名	地域雇用支援事業			
事業概要	人材不足が深刻化する市内企業の雇用確保を支援し、定住人口の増加に繋げるとともに、小中高生の職業観、就労意欲を高めるための事業や障害者の就労支援を実施する。			
担当課名	経済観光課	概算事業費(千円)	57,612	
事業内容	R5	R6	R7	
	 UIJ ターン就職・地元定着促進事業の実施 高校生就労支援事業の実施 小中校生就労・起業啓発事業の実施 障害者就労支援事業の実施			
指標	UIJ ターン就職・地元定着促進事業による市内企業への就職者数			
目標値	R5	R6	R7	
	50人	50人	50人	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	50人	31人	C 目標値の70%未満	
対面形式とWEBを活用した業界・企業研究会等の開催に加え、磐田市就活情報専用サイト「磐田 de」や就活公式ライン、デジタル就職相談スペース等を活用し、企業のインターンシップ情報や就活イベント情報の発信、スカウト機能でのマッチングサポートを実施したことで、大学生等のUIJ ターン就職の促進に関して一定の成果が得られた。 また、県や近隣市町、大学と連携して事業を実施したことで、県内外での就活イベントの開催など、広域的な情報発信に繋げることができた。 今後は、新型コロナウイルスの影響を含め、絶えず変化する社会情勢を見据えた、多様化・複雑化する学生の就活状況やニーズに合わせた企画・検討が必要である。				

基本施策 4 交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化

施策の内容

- (1) 観光・交流を推進します
- (2) まちのにぎわいづくりを推進します
- (3) やる気ある個店を支援します

実施計画事業


No	10		未来と仕事の安心	総合戦略
事業名	軽トラ市開催支援事業			
事業概要	軽トラ市の開催を支援し賑わいを創出するとともに、運営に携わる実行委員会に対して、活動の幅を広げ、中心市街地活性化における様々な場面への参画を支援する。			
担当課名	経済観光課	概算事業費（千円）	3,723	
事業内容	R5	R6	R7	
			軽トラ市実行委員会への支援 ジュピロ磐田アウェー戦への出店	
指標	軽トラ市への来場者数			
目標値	R5	R6	R7	
	30,000 人	32,000 人	32,000 人	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	24,000 人	29,500 人	A 目標値以上	
	新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、R4は4回全て実施することができた。LINE 公式アカウントを作成し、事前注文が可能になったことや、イベント当日前に出店者の情報が得られるようになったこともあり、目標数値を超えることができた。また、ジュピロ磐田アウェー戦の地での軽トラ市では、多くの対戦相手サポーターへ軽トラ市や磐田の特産品、イメージキャラクターのPRを行うことができた。 今後の軽トラ市は、新たな顧客の獲得や既存商店の魅力発信に向けての検討が必要である。			


基本施策 5 ブランド力の強化とシティプロモーションの推進

施策の内容

- (1) 情報発信力とブランド力の強化を図ります
- (2) イメージキャラクターの活用を促進します

実施計画事業

No	11		未来と仕事の安心	総合戦略
事業名	シティプロモーション推進事業			
事業概要	市民をはじめ、多くの方に磐田市のことを知ってもらい、「磐田市」の認知度拡大、メディアやSNS等を活用した情報発信、人材を生かした磐田の魅力発信を図る。			
担当課名	広報広聴・シティプロモーション課	概算事業費(千円)	147,276	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>磐田市情報館の管理運営 テレビCMやラジオ、アニメーション等を活用したPRの実施 動画・SNSを活用した市の魅力発信</p>			
指標	磐田市情報館来場者数			
目標値	R5	R6	R7	
	500,000人	500,000人	500,000人	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	500,000人	412,000人	B 目標値の70%から100%未満	
	<p>SNS・テレビ・ラジオなど様々な媒体を通じ、写真や動画を積極的に活用し、市内外に市の魅力を発信した。Instagramフォロワー数は順調に伸び9,000人を超えている。磐田市情報館来館者は大河ドラマの放映に合わせた歴史コーナーの新設や体験型イベントなどを開催したことで昨年よりは増加したが目標には届かなかった。</p> <p>今後も、磐田市情報館中央の開放的なスペースを利活用し、ワークショップなど体験型イベントの開催や市内の回遊に繋がる魅力ある情報館運営を目指すとともに、磐田駅及び御厨駅の南北自由通路公共掲示板を活用し、駅を利用する市内外の方に市の魅力をPRしていく。</p>			


No	12		未来と仕事の安心	総合戦略
事業名	イメージキャラクター推進事業			
事業概要	市のイメージキャラクター「しっぺい」が市民に長く愛され続けられるよう、市内のイベントを中心に市内外へ活動を展開することにより、「しっぺい」とともに磐田市を全国にPRする。			
担当課名	経済観光課	概算事業費(千円)	5,970	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>市民に愛され親しまれるための活動 市外・県外での磐田市のPR活動 外部委託の検討</p>			
指標	デザイン許諾契約件数			
目標値	R5	R6	R7	
	320件	340件	360件	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	300件	308件	A 目標値以上	
	<p>新型コロナウイルス感染症対策をしながらの活動を行った。10回目誕生会を区切りとして、R4から感謝祭とし、軽トラ市と同時開催をした。また、コロナ禍で中止となった「しっぺいなりきりパレード」を実施することにより、中心市街地のにぎわい創出につながった。</p> <p>今後、出演イベントの選定基準を明確にしていく(広い周知を目的としたイベントや費用対効果)。</p>			

基本施策 6 移住・定住の推進

施策の内容

- (1) 移住・定住を支援します
- (2) UIJターン就職を促進します

実施計画事業

No	13		未来と仕事の安心	総合戦略
事業名	Uターン促進奨学金返済支援事業			
事業概要	Uターンを促進することにより定住人口の増加を図るため、大学進学のために県外へ転出し、就労のために本市に転入した若者に対し、奨学金の返済の一部を補助する。			
担当課名	政策推進課	概算事業費（千円）	43,671	
事業内容	R5	R6	R7	
	 Uターン促進奨学金返済支援補助金の交付			
指標	補助金申請件数			
目標値	R5	R6	R7	
	160 件	176 件	194 件	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	120 件	88 件	B 目標値の 70%から 100%未満	
	88 件の申請、6,903,000 円の補助金を交付した。更なる利用促進を図るため、対象範囲の見直しや新たな周知方法の検討を行う。			

分野 2

自治・スポーツ・文化・歴史・共生


実施計画事業


基本施策 1 コミュニティと市民活動の活性化


施策の内容

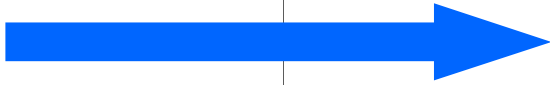
- (1) 自治会活動への支援を行います
- (2) 地域づくり協議会を中心とした地域活動の支援を行います
- (3) 市民活動団体の育成と協働を進めます

実施計画事業

No	14		暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	自治会・自治会連合会支援事業			
事業概要	地域活動の活性化を目的とし、地域が連携して誰もが住みよいまちづくりの基盤となる自治会活動への支援を行う。			
担当課名	自治デザイン課	概算事業費(千円)	462,840	
	R5	R6	R7	
事業内容				
	自治会運営費交付金の交付			
指標	自治会加入世帯数			
目標値	R5	R6	R7	
	56,000世帯を維持	56,000世帯を維持	56,000世帯を維持	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	56,000世帯を維持	56,268世帯	A 目標値以上	
	自治会長に対して小規模多機能自治シンポジウムや全住民アンケート講演会を開催するなど、今後の少子高齢化を見据えた自治会活動の在り方について聴講する機会を提供した。今後も引き続き小規模多機能自治の周知を図るとともに、自治会活動の負担軽減と地域住民の利便性の向上を目的に、自治会活動のデジタル化も検討・支援していく必要がある。			

No	15		暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	小規模多機能自治推進事業（地域づくり応援一括交付金の交付）			
事業概要	自治会などの基礎的コミュニティより広範囲の概ね小学校区域等において、その区域内に住み、又は活動する個人、地縁型・属性型・目的型などのあらゆる団体等により構成された地域共同体が、地域実情及び地域課題に応じて行う住民の福祉を増進するための取組に対して支援を行う。			
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	349,317	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	 <p>小規模多機能自治を推進するための地域づくり応援一括交付金の交付</p>			
指標	中学生以上全住民アンケートの実施			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	2 地区	2 地区	2 地区	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	4 地区	4 地区	A 目標値以上	
	小規模多機能自治シンポジウムや全住民アンケート説明会を開催するなどして、地域の自治（地域活動の自立）を支援してきた結果、4つの協議会が全住民アンケートを実施し、問題把握や課題の整理に地域自らが着手し始めた。今後も、地域の課題を地域自らが解決する自治を促しながら、一括交付金制度を活用し地域の自治を支援していく。			

No	16		暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	コミュニティ施設整備費補助事業			
事業概要	自治会活動で活用する公会堂等の新築・改修や掲示板、防災倉庫等の整備事業を支援することで、地域コミュニティの振興を図る。			
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	126,421	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	 <p>コミュニティ施設整備費補助金（建築、改修、改造、耐震化及び掲示板の整備）の交付</p>			
指標	補助金交付件数			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	21 件	21 件	21 件	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	21 件	22 件	A 目標値以上	
	R4の補助金交付件数25件の内、自治会公会堂等整備は19件（新築2件、改造5件、改修11件、耐震補強1件）、自治会掲示板整備は3件、一般コミュニティ助成は3件実施した。R5以降も引き続き補助金制度の周知に努め、コミュニティ施設の長寿命化を支援する。			


No	17	暮らしと健康の安心	
事業名	(仮称) 磐田市協働のまちづくり基本条例検討事業		
事業概要	地域活動拠点施設の整備や地域づくり協議会の設置が進み、将来にわたって、持続可能な地域づくりを推進していくため、市民自治による地域づくり活動の基本理念を掲げる条例の検討を行う。		
担当課名	自治デザイン課	概算事業費(千円)	1,952
事業内容	R5	R6	R7
	持続可能な地域づくり推進の調査審議 パブリックコメント	 条例施行、持続可能な地域づくり推進の調査審議	
指標	条例策定検討委員会の開催回数		
目標値	R5	R6	R7
	3回	(R6 終了予定)	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	3回	4回	A 目標値以上
	R4は条例策定検討委員会を4回、庁内検討会を2回開催し、委員に小規模多機能自治やまちづくりに関する講演会や勉強会等の場を提供した。また、幅広い世代から率直な意見や考えを聴ける場として、いわたまちづくりワークショップ開催し、まちづくりに興味を持ってもらうきっかけや対話の土壌はできた。R5.2月議会上程に向けて、いわたまちづくりワークショップを開催、パブリックコメントを実施していく。		

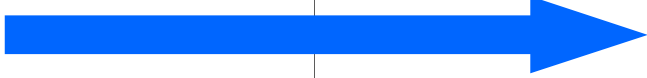
基本施策 2 スポーツの振興


施策の内容


- (1) スポーツ機会の充実を図ります
- (2) スポーツのまちづくりを推進します
- (3) スポーツ施設の整備を進めます

実施計画事業

No	18	暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	市民スポーツ活動支援事業		
事業概要	スポーツ推進委員やスポーツ協会などと協力し、市民スポーツ活動を推進するとともに、企業や大学と連携してスポーツ資源を活用した事業の実施を目指す。		
担当課名	スポーツのまち推進課	概算事業費(千円)	108,203
事業内容	R5	R6	R7
	 <p>各種スポーツ大会・教室・スポーツイベントの開催 全国大会出場賞賜金の支払い スポーツ協会補助金の交付 ほか</p>		
指標	親子ふれあい体育教室に申し込みをした親子のうち、実際に参加したものの占める割合(=出席率)(%)		
目標値	R5	R6	R7
	80%	80%	80%
実績(R4)	目標値	実績値	評価
	75%	79.5%	A 目標値以上
コロナ禍ではあったが、参加人数の縮小や参加者の事前把握、運動や事業の内容について様々な工夫をするとともに、感染症対策を行いながら各種大会・教室・イベント等を開催することができた。市民がスポーツをする機会が減少する中で、安心してスポーツに取り組める場を提供することの重要性が増しており、今後も、幅広い層が参加できる大会・教室・イベントを企画、実施していく。			

No	19	子どもたちの安心	総合戦略
事業名	磐田スポーツ部活事業		
事業概要	中学生のスポーツ活動の機会充実及び教職員の負担軽減のため、学校部活動の枠を超えた新たなクラブ「磐田スポーツ部活」事業を実施する。		
担当課名	放課後活動課	概算事業費(千円)	58,036
事業内容	R5	R6	R7
	スポーツ部活(陸上部・ラグビー部)の運営 部活動の段階的な地域移行に向けた調査・研究	 スポーツ部活(陸上部・ラグビー部)の運営 地域クラブ活動の運営 部活動の段階的な地域移行に向けた調査・研究	
指標	部活動運営協議会の開催回数 ※R5より外部指導者・部活動指導員派遣数		
目標値	R5	R6	R7
	60回	80回	120回
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	3回	1回	C 目標値の70%未満
	学校部活動の地域連携・地域移行に向けて、本市の実態に即して円滑に進められるように運営協議会を開催した。R5から改革推進期間となり、着実に地域移行を進めていくため、今後に向けてロードマップを作成していく。		

No	20	子どもたちの安心	総合戦略
事業名	ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業		
事業概要	ジュビロ磐田のホームタウンとして、全小学校を対象に観戦事業を行うことにより、児童の郷土愛の醸成及びホームタウン意識の高揚につなげる。		
担当課名	スポーツのまち推進課	概算事業費(千円)	41,176
事業内容	R5	R6	R7
	 ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業		
指標	一斉観戦実施後の児童アンケートで「磐田市を以前より好きになった」の回答割合		
目標値	R5	R6	R7
	85%	85%	85%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	70%	84%	A 目標値以上
	郷土のプロスポーツチームの試合を、一体感をもって観戦する体験を通じて、子供たちがスポーツへの関心を深めるとともに、磐田市をふるさととして誇りに思い将来にわたって愛する気持ちを醸成している。R4は、コロナ禍であったが、十分な対策を取りながら5・6年生の参加が可能となった。今後も児童の安全に配慮しながら事業継続を目指すとともに、機運醸成のための学校訪問や応援指導再開を検討する。		

No	(新規)21	子どもたちの安心	
事業名	静岡ブルーレヴズホストゲーム中学生一斉観戦事業		
事業概要	静岡ブルーレヴズのホストタウンである本市に暮らす子どもたちが、地元ラグビーチームの応援を通じて、スポーツを観戦する楽しさやスポーツマンシップの素晴らしさを体感するとともに、スポーツのまち磐田への愛着をもち、市民であることへの誇りを抱ききっかけとする。		
担当課名	スポーツのまち推進課	概算事業費(千円)	29,449
事業内容	R5	R6	R7
	 <p>静岡ブルーレヴズホストゲーム中学生一斉観戦事業</p>		
指標	一斉観戦実施後の生徒アンケートで「磐田市を以前より好きになった」の回答割合		
目標値	R5	R6	R7
	70%	70%	70%

No	22	暮らしと健康の安心	
事業名	スポーツ施設整備事業		
事業概要	市民が安心してスポーツを楽しむ環境づくりを進めるため、既存のスポーツ施設の計画的な改修・修繕を行う。		
担当課名	スポーツのまち推進課	概算事業費(千円)	1,260,360
事業内容	R5	R6	R7
	各種改修工事及び各種実施設計 アミューズ豊田ゆやホール(音響、調光、舞台機構)設備改修 社会体育施設LED化改修実施設計	各種改修工事 アミューズ豊田外壁改修 社会体育施設LED化改修	各種改修工事 社会体育施設LED化改修 体育館床、屋根等改修実施設計ほか
指標	各種改修工事の完工		
目標値	R5	R6	R7
	100%	100%	100%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	100%	100%	A 目標値以上
経年劣化が進んだ施設や設備の修繕及び工事を実施し、利用者の安全性の確保に努めた。今後も引き続き経年劣化、利便性の向上及び予防保全に対する改修を行い、計画的に体育施設の長寿命化を図る。			


基本施策 3 文化の振興と歴史遺産の整備、活用

施策の内容

- (1) 文化芸術活動の育成と支援を行います
- (2) 文化・芸術に触れる機会の充実を図ります
- (3) 文化施設の整備・充実を図ります
- (4) 文化財の保全・整備・活用を進めます

実施計画事業

No	23		子どもたちの安心	総合戦略
事業名	青少年文化芸術活動育成支援事業			
事業概要	青少年の文化芸術に対する活動の育成支援を行う。			
担当課名	文化振興課	概算事業費(千円)	47,657	
事業内容	R5	R6	R7	
	高校演劇クリニックの実施 吹奏楽公開セミナーの実施 器楽指導者派遣事業の実施 こどもミュージカルの育成 こども3バンドへの支援	高校演劇クリニックの実施 吹奏楽公開セミナーの実施 器楽指導者派遣事業の実施 こどもミュージカルの育成・修了公演 こども3バンドへの支援	高校演劇クリニックの実施 吹奏楽公開セミナーの実施 器楽指導者派遣事業の実施 こどもミュージカルの育成 こども3バンドへの支援	
指標	磐田こどもミュージカル及びこども3バンドの団員数			
目標値	R5	R6	R7	
	180人	180人	180人	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	180人	146人	B 目標値の70%から100%未満	
	<p>コロナ感染対策を実施した上で、磐田こどもミュージカル修了公演のほか、こどもバンドの修了コンサートなどをコロナ前と同様に実施することができた。また、指導者派遣等により、子ども達の演技や演奏などの技術力の向上が図られた。</p> <p>団員数については減少傾向にあり、指導者の担い手不足や楽器の老朽化、練習場所の確保などの課題がある。</p> <p>また、学校部活動の地域移行が円滑に進められるよう運営協議会で、学校をはじめ関係課と協議した。</p>			

No	24	暮らしと健康の安心	
事業名	文化芸術活動支援振興事業 (文化芸術活動支援事業・文化芸術振興事業)		
事業概要	地域の文化芸術活動の育成等を図るため、文化協会への芸術祭の委託や、文化協会の活動に対して補助を行う。また、公益的な文化振興事業等を実施する文化振興会の活動に対して補助を行う。		
担当課名	文化振興課	概算事業費(千円)	149,673
事業内容	R5	R6	R7
	 文芸磐田の発行 芸術祭等実施委託 磐田市文化協会への補助 磐田文化振興会への補助		
指標	磐田市芸術祭及び文化振興会事業の集客数		
目標値	R5	R6	R7
	29,000人	30,000人	30,000人
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	16,000人	28,849人	A 目標値以上
	入場者数の制限が緩和されたことや新市民文化会館「かたりあ」が開館したことから、昨年度よりも参加人数は大幅に増加した。 芸術祭舞台部門の出演団体が前年11組から28組に増加したため、次年度は開催日を2日に増やし、より多くの方が参加できるようにする。また、若年層の参加を促進するためのイベント等に取り組んでいく。		


No	25	暮らしと健康の安心	
事業名	遠江国分寺跡整備事業		
事業概要	特別史跡・遠江国分寺跡の再整備として、平成28年度に策定した整備基本計画に基づき、主要建物の基壇や灯ろうの復元、四阿やトイレの設置などを行う。		
担当課名	文化財課	概算事業費(千円)	818,006
事業内容	R5	R6	R7
	基壇整備工事(金堂) 追加調査報告書作成	基壇整備工事(塔・回廊・中門) 実施設計策定(四阿・灯ろう・サイン) 追加指定地買上げ ARコンテンツ作成	基壇整備工事(回廊・南大門他) 施設整備工事(四阿・灯ろう・サイン・照明) 実施設計策定(築地塀・トイレ) ARアプリ制作
指標	特別史跡指定地の買上げ面積		
目標値	R5	R6	R7
	0㎡	168㎡	0㎡
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	—㎡	—㎡	D 当該年度に買上げなし
	講堂・僧房の建物基壇復元(木装基壇)工事を実施した。 今後、金堂・塔などの建物基壇復元、施設整備工事を進めていくとともに、灯ろうの遺構復元、サイン・四阿等の施設整備の実施設計を策定する。		

基本施策 4 学習機会の充実

施策の内容

- (1) 生涯学習活動を推進します
- (2) 図書館の充実を図ります
- (3) 大学を活用した学びの場を提供します

実施計画事業


No	26		暮らしと健康の安心	
事業名	図書館資料整備事業			
事業概要	図書館活動の中心として、最新の資料を取り揃え利用者へ提供するとともに、要望に応えながら図書館資料の充実を図る。また、市民の調査研究・学習機会に役立てるため、各種資料を収集・保存し、図書館としての役割を担う。			
担当課名	中央図書館	概算事業費(千円)	102,243	
事業内容	R5	R6	R7	
	図書の電子化 図書・資料の購入 図書へのICタグ貼付	 図書の電子化 図書・資料・電子書籍の購入		
指標	市民1人当たりの年間貸出数			
目標値	R5	R6	R7	
	8件	8件	8件	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	8件	6.9件	B 目標値の70%から100%未満	
	ICシステム導入による適正な管理・運用を行い、厳選した選書を徹底したうえで、特色ある図書館・魅力ある図書館づくりを進めた。 地域資料の電子化を今後も進めるとともに、電子書籍サービスの利用促進を図りつつ、学校との連携による更なるサービスを検討する。			


基本施策 5 共生社会の確立

施策の内容

- (1) 人権意識の啓発を行います
- (2) 多文化共生、国際理解、国際交流を推進します
- (3) 男女共同参画を推進します

実施計画事業

No	27		暮らしと健康の安心
事業名	多文化共生推進事業		
事業概要	多文化共生社会の実現を目指し、第4次磐田市多文化共生推進プランに基づき、多文化共生推進施策を総合的かつ計画的に推進する。		
担当課名	自治デザイン課	概算事業費(千円)	167,877
事業内容	R5	R6	R7
	プランの進行管理 多文化交流センターの運営委託 外国人情報窓口の運営委託 日本語教室の運営 外国人支援団体への補助 多文化共生PR動画の発信 外国人アンバサダーの設置	 プランの進行管理 多文化交流センターの運営委託 外国人情報窓口の運営委託 日本語教室の運営 外国人支援団体への補助	
指標	日本語教室における昇級者数		
目標値	R5	R6	R7
	40人	40人	40人
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	40人	16人	C 目標値の70%未満
第4次磐田市多文化共生推進プランに基づき、取組みを企画し、実施した。 磐田市初となる、磐田市主催の日本語教育事業を実施し、独自の日本語能力評価票を作成した。一定回数以上参加した学習者には修了証を発行。企業と連携し、受講による効果の追跡取材を行った。これまでよりも継続受講者の割合が高くなった。 能力評価制度の見直しと、スタッフの確保が課題となった。 外国人情報窓口の契約更新により、動画による情報発信が可能となった。また、SNSによる情報発信の言語を拡充。さらに、テレビ通訳対応タブレットを導入し、iプラザや各支所でも外国人対応が可能となった。 動画やテレビ通訳タブレットの活用方法が課題となった。			

No	28		暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	男女共同参画推進事業			
事業概要	磐田市男女共同参画推進条例・第3次男女共同参画プランに基づき、男女共同参画推進施策を総合的かつ計画的に推進する。			
担当課名	自治デザイン課	概算事業費(千円)	3,351	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>プランの進行管理 研修・講演会等の実施 地域や企業への啓発活動 自治会や企業連携による事業の実施</p>			
指標	市の審議会等委員の女性割合			
目標値	R5	R6	R7	
	30%	32%	34%	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	29%	27.9%	B 目標値の70%から100%未満	
	「性別による固定的役割分担意識の改善について」の本庁展示の実施や交流センターでの巡回展示を実施した。性の多様性に関する取組として、全庁的なレインボーフラッグの掲出やマイノリティデザインの講演会を実施し理解の促進を図った。R5は、関係課と連携し性的マイノリティの当事者を招いた講演会や小中学生向け性教育講座等を企画している。今後も啓発活動を継続的に行っていきたい。			

実施計画事業


基本施策 1 子ども・子育て支援の充実

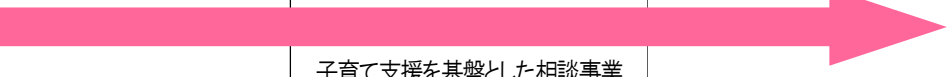
施策の内容


- (1) 子育て相談体制の充実を図ります
- (2) 多様な子育てサービスの充実を図ります
- (3) 幼児教育・保育環境の充実を図ります
- (4) 支援を必要とする子どもや保護者を支える体制を整備します
- (5) 子どもの発達支援ネットワークを構築します


実施計画事業


No	29		子どもたちの安心	
事業名	子育て支援推進事業 (子育て支援センター運営事業・子育て世代包括支援センター事業・育児サポーター派遣事業・児童福祉事務・ひとり親家庭子育てサポート事業・子育て支援センター施設整備事業)			
事業概要	子育てに関する相談や支援、情報提供を通じて子育ての不安を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを推進する。			
担当課名	こども未来課	概算事業費(千円)	266,487	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	子育て支援センターの運営 母子健康手帳発行 産後ケア事業実施 育児サポーターの派遣 子育て情報サイト・アプリの運営 子育て世代包括支援センター運営 低所得の妊婦に対する初回産科受診料の補助 子ども・子育て支援事業計画策定のための市民意識調査の実施	子育て支援センターの運営 母子健康手帳発行 産後ケア事業実施 育児サポーターの派遣 子育て情報サイト・アプリの運営 子育て世代包括支援センター運営 低所得の妊婦に対する初回産科受診料の補助 第3期子ども・子育て支援事業計画(こども基本法に関する計画を含む)の策定	子育て支援センターの運営 母子健康手帳発行 産後ケア事業実施 育児サポーターの派遣 子育て情報サイト・アプリの運営 子育て世代包括支援センター運営 低所得の妊婦に対する初回産科受診料の補助	
指標	子育てアプリの登録者数			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	4,500人	5,100人	5,700人	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	3,900人	3,831人	B 目標値の70%から100%未満	
	母子健康手帳交付時等にて子育てアプリ登録の勧奨を行うことにより、登録者の増加につなげることができた。 母子保健選任保健師が集約され、地区担当保健師が妊娠期から関わり、相談しやすい支援体制を整えた。			

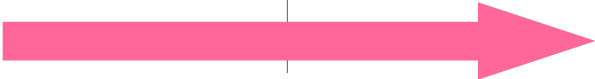
No	30	子どもたちの安心	総合戦略
事業名	児童虐待防止事業		
事業概要	子ども家庭総合支援拠点（こども・若者相談センター）を設置し、心配な子どもや家庭に関する情報収集・対応・支援を行うとともに、関係機関と要保護児童等対策協議会において情報共有による連携を図ることで、児童虐待の早期発見・早期対応に努める。		
担当課名	こども未来課	概算事業費（千円）	19,402
事業内容	R 5	R 6	R 7
	 <p>要保護児童等対策協議会の開催、啓発活動 子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、実情の把握、 子ども等に関する相談全般から継続的なソーシャルワーク業務</p>		
指標	子ども家庭総合支援拠点の相談・対応件数		
目標値	R 5	R 6	R 7
	350 件	350 件	350 件
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	350 件	367 件	A 目標値以上
	R4は、目標値を上回る 367 件の対応を行った。今後も引き続き関係機関と連携をしながら相談対応をするとともに、R6のこども家庭センター設置に向け、児童福祉と母子保健のより一層の一体的相談支援体制、連携を進めていく。		

No	31	子どもたちの安心	総合戦略
事業名	ひと・ほんの庭にこっと子育て支援・相談事業		
事業概要	子育てに関する相談や支援、講座に本の力を加え、より多くの市民がにこっとできるよう、施設の運営を行う。		
担当課名	こども未来課	概算事業費（千円）	109,884
事業内容	R 5	R 6	R 7
	 <p>子育て支援を基盤とした相談事業 人づくりを主眼においた講座事業 図書有効利用及び貸出事業</p>		
指標	1日あたり来館者数		
目標値	R 5	R 6	R 7
	550 人	550 人	550 人
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	520 人	548 人	A 目標値以上
	新型コロナウイルス感染症の制限緩和や、様々な講座・イベントを再開したことにより、来館者数が増加した。新たなイベントの実施やLINEでの広報などにより、これまでになかった方の利用がなかった方など、より多くの方に来館していただくことができた。 今後も市民のニーズのあるイベント企画や情報発信を行う。		


No	32	子どもたちの安心	
事業名	こども医療費助成事業		
事業概要	医療費助成により、疾病の早期発見、早期治療を促進し、疾病の慢性化の予防と保護者の経済的負担の軽減を図る。		
担当課名	こども未来課	概算事業費(千円)	2,715,949
事業内容	R5	R6	R7
	 乳幼児から高校生年代までの入院・通院に係る医療費の助成		
指標	助成対象の受診件数(給付件数)		
目標値	R5	R6	R7
	324,920件	318,983件	313,155件
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	370,500件	330,967件	B 目標値の70%から100%未満
	R4.10月診療分から高校生年代までの無料化が実施され、更なるこどもの疾病の早期治療及び保護者の経済的負担の軽減が図られた。引き続き、医療費助成を通じ、事業の目的を達成していきたい。なお、高校生年代までの無料化に加え、R5からは証更新も廃止され事務負担の軽減と経費の削減に繋がるものとする。		

No	(新規)33	子どもたちの安心	
事業名	不妊治療費助成事業		
事業概要	保険適用された治療と併用して自費で実施される「先進医療」に係る費用の一部を助成することで、不妊治療を受けた方の経済的負担を軽減する。		
担当課名	こども未来課	概算事業費(千円)	30,361
事業内容	R5	R6	R7
	 保険適用外の不妊治療の内、先進医療に告示された不妊治療に対する助成		
指標	助成件数		
目標値	R5	R6	R7
	100件	100件	100件

No	34	子どもたちの安心	
事業名	新中学生応援事業（中学生スタートアップ応援事業）		
事業概要	中学校入学を迎える児童の門出を応援するとともに、子育てをする家庭の経済的負担の軽減及び子育て支援の充実を図る。		
担当課名	こども未来課	概算事業費（千円）	144,746
事業内容	R 5	R 6	R 7
	 <p>応援の気持ち(メッセージ)のお届け 中学に入学する際の制服等準備に係る経費を補助(入学前の小学6年時)</p>		
指標	新中学生応援商品券申請割合		
目標値	R 5	R 6	R 7
	90%	90%	90%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	90%	99%	A 目標値以上
	申請は目標値を上回り、電子申請の利用によりスムーズな申請対応ができた。R5から事業名を新中学生応援事業に変更し、対象品目の拡大をすることで、より利便性を高められるようにしていく。		

No	35		子どもたちの安心	総合戦略
事業名	幼児教育・保育推進事業 (幼児教育・保育の質の向上、多様な保育ニーズに対応した支援の拡充、発達支援の充実、環境整備と職員体制の充実)			
事業概要	幼児教育・保育の更なる質の向上を図るとともに、多様な保育ニーズに対応した支援を拡充するための体制整備を推進する。			
担当課名	幼稚園保育園課	概算事業費(千円)	37,901	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	幼児教育・保育推進計画の周知 公私立園の連携強化 職員研修の充実 保育サービスの充実、支援強化 保育士確保策の充実 職場環境の充実(園業務のICT化)	 幼児教育・保育推進計画の周知 公私立園の連携強化 職員研修の充実 保育サービスの充実、支援強化 保育士確保策の充実 職場環境の充実・DXの推進		
指標	保護者アンケートによる「市の幼児教育・保育事業に対する満足度」			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	80%	80%	80%	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	80%	92%	A 目標値以上	
	幼児教育・保育推進計画に基づいて、幼児教育・保育の推進を図った。 保護者の利便性向上と職員の業務支援を目的として、園運営支援システム「コドモン」を導入し、園業務のICT化を進めた。なお、導入に際しては、園職員で構成するワーキングチームによる検証を行うなど、現場の声を大切にしながら実施した。引き続き、現場の意見を優先する中で、職員の働き方改革や業務の見直しを図っていく。 また、保育支援のために、公立園へポルトガル語に加えて英語の通訳を巡回させたり、公私立園へ通訳システムを導入したりするなど、多言語に対応できる環境を整えた。 今後の課題としては、公私立園の連携をさらに強化するための仕組みづくりや保育士確保策の充実が挙げられる。			

No	36		子どもたちの安心	
事業名	認可園施設整備事業			
事業概要	待機児童を解消するため、老朽化した公立園の再編や再築、改修を進めるとともに、民間認可保育園等の建設費や償還金の一部を補助することによる保育環境整備、運営法人の経営の健全化を図る。			
担当課名	幼稚園保育園課	概算事業費(千円)	1,021,533	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	認可保育所リーザプレスクールの新園舎建設に係る運営法人との調整及び補助金支出 公立園の環境整備工事 民間認可保育園等の施設整備費償還金の助成	東部幼稚園の民営化・新園舎建設に係る運営法人との調整及び補助金支出 幼児教育・保育推進計画の実施方針における取組 公立園の環境整備工事 民間認可保育園等の施設整備費償還金の助成		
指標	各年度計画の達成率(%)			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	100%	100%	100%	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	100%	100%	A 目標値以上	
	<p>公立園の環境整備については、二之宮保育園の送迎駐車場整備や大藤こども園の屋根改修など、必要な箇所への修繕を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症への対策を継続して行った。</p> <p>また、東部幼稚園の民営化については、運営移管を予定していた法人の辞退に伴って再公募を行い、新たな法人を決定した。R7.4月の開園に向けて調整を継続していく。</p> <p>R2に運営移管をした認可保育所リーザプレスクールについては、R5の施設再築に向けて、調整を行った。</p> <p>併せて、民間認可保育園施設等整備事業償還金については、補助申請に対し、適切に事務を執行した。</p> <p>今後も幼児教育・保育推進計画に沿って着実に施設整備を進めるとともに、公立幼稚園の認定こども園化に向けた給食業務の見直しなど、より具体的な施策を検討していく。</p>			


No	37	子どもたちの安心		総合戦略
事業名	発達障害等支援事業			
事業概要	発達の遅れや療育の課題があるとされた児童及び保護者に対して、必要な支援を行うとともに、職員等関係者の資質向上や発達支援の普及啓発を図る。			
担当課名	こども未来課/幼稚園保育園課	概算事業費(千円)	213,558	
事業内容	R5	R6	R7	
	磐田市発達支援センターの運営 支援者研修 保護者支援 啓発事業			
指標	発達支援等事業相談件数			
目標値	R5	R6	R7	
	2,500件	2,500件	2,500件	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	2,500件	2,673件	A 目標値以上	
	<p>従来より相談までの待機期間の長期化が常態化していたため、R4は臨床心理士の増員により、待機期間の短縮を図った。複雑化、多様化する相談内容への対応や関係機関との連携のため、R5より対人援助の専門職であるケースワーカーと「幼児ことばの教室」の入級希望者の見立てや指導員のスキルアップのため言語聴覚士を配置する。</p> <p>また、発達相談グループ、子育てサポートグループと連携をし、1歳6か月児健診での心理相談の実施や事後のフォロー体制を充実し、早期の支援に繋げていく。</p>			

基本施策 2 特色ある教育の推進


施策の内容

- (1) 新時代の新たな学校づくりを推進します
- (2) 「個」に応じたきめ細かな支援・指導の充実を図ります
- (3) 学校給食の充実を図ります
- (4) 児童生徒の安全・安心対策を推進します
- (5) 体験を重視する教育を推進します


実施計画事業

No	38		子どもたちの安心	総合戦略
事業名	小中学校コンピュータ教育推進事業			
事業概要	学校の情報環境を整備する中で児童・生徒の情報活用能力及び情報モラルの育成とコンピュータを活用することによる、わかる楽しい授業の推進、そして教職員の校務処理の効率化を図り教育の情報化を進める。			
担当課名	学校教育課	概算事業費(千円)	369,429	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	校務用PC更新 ネットワーク機器修繕 アクセスポイント交換 ネットワーク運用支援業務委託 教育用PC等賃貸借 電子連絡網システム			
指標	コンピュータ教育研究委員会の開催			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	2回	2回	2回	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	2回	2回	A 目標値以上	
	1人1台端末を活用した授業を使った授業を、各校の情報担当者、コンピュータ教育研究委員が積極的に実践・公開し、一層、端末を効果的に使った授業が広がった。今後は子どもが目的をもって、自らの判断で端末を活用する力を育てていく。 学校と保護者間の双方向連絡が可能となる電子連絡網システムを試験導入することで、保護者からの欠席連絡、学校からの配布物など、ペーパーからデジタルに変革しつつある。次年度の本格導入に向け、デジタル化を推進する活用方法を探っていく。			

No	39	子どもたちの安心	総合戦略
事業名	向陽学府新たな学校づくり整備事業		
事業概要	向陽学府小中一体校整備に向け、基本・実施設計等で設計図書を作成し、建設工事を行う。		
担当課名	教育総務課	概算事業費(千円)	7,842,660
事業内容	R5	R6	R7
	実施設計 教職員ヒアリング 仮設校舎整備 設備切廻し工事 テニスコート・駐車場整備工事 解体工事	解体工事 建設工事	建設工事
指標	R8 年度開校 (R4~R5:設計 R5~R8:工事)		
目標値	R5	R6	R7
	実施設計完了 仮設校舎完成 建設工事 (進捗率 6%)	建設工事 (進捗率 30%)	建設工事 (進捗率 90%)
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	基本設計完了	基本設計完了	A 目標値以上
	基本設計が完了し、R5.7 未完了を目指して実施設計を進めている。 R5 は仮設校舎整備、解体工事等を実施。 学校運営と並行しての整備であることを考慮した施工が課題。 R8 開校に向けて計画的な発注等に取り組む。		

No	40	子どもたちの安心	総合戦略
事業名	外国語指導助手派遣事業		
事業概要	小学校では外国語活動、中学校では外国語科授業の支援及び外国語教育施策の推進をするために、市内の小・中学校に外国語指導助手を派遣する。また、幼少時から生きた英語と接する機会を設けるために、幼稚園にもALTを派遣する。		
担当課名	学校教育課	概算事業費(千円)	28,782
事業内容	R5	R6	R7
	 市内幼稚園・小中学校巡回訪問、 直接雇用(外国人(7h)11人、日本人(7h)4人、外国人(4h)1人、派遣委託業者ALT 2人 SPEAKとe-SPEAKの実施		
指標	市内ALT雇用総数		
目標値	R5	R6	R7
	18人	18人	19人
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	18人	18人	A 目標値以上
	小学校1・2年生(年間5時間)と3・4年生(年間35時間)は全時間、5、6年生は70時間中35時間、中学校は週一回以上のALTとのチームティーチングを実施した。 また、市施策のSPEAKは全校で実施、小学校での英会話活動e-SPEAKの試行を4学府で実施した。 今後も、新学習指導要領に合わせて学級担任や教科担任との連携を強化しながら、英語によるコミュニケーションを意識した活動の充実を目指す。		


※SPEAK (Student Practical English Assessment checkK の略:「実践的な英会話の評価」を意味する)

No	41		子どもたちの安心	総合戦略
事業名	コミュニティ・スクール推進事業			
事業概要	「地域とともにある学校づくり」を推進するために、学校運営協議会を設置している小中学校を支援する。			
担当課名	学校教育課	概算事業費(千円)	18,852	
事業内容	R5	R6	R7	
	 CSD・CSCの配置 地域人材による学校支援活動の推進 地域との協働活動の推進		CSDの配置(希望学府) 地域連携室の整備推進 地域人材による学校支援活動の推進 地域との協働活動の推進	
指標	CSD・CSC連絡会の開催回数			
目標値	R5	R6	R7	
	3回	3回	3回	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	3回	3回	A 目標値以上	
	<p>ミシンやリコーダー、書道、かけ算九九等の学習支援、職業体験や職業講話等のキャリア教育、登下校時の見守り・声掛けサポーター、新1年生の給食準備支援、図書館整備や樹木の剪定、修繕等の環境整備等、幅広い地域住民の参画を得ながら、子どもたちの育成に地域と学校が協働して取り組むことができた。</p> <p>また、コミュニティ・スクールの充実に向けて、CS担当者会を年1回、CS研修会を年1回、CSD・CSCの連絡会を年3回実施した。今後も、「地域と共にある学校」を目指していく。</p> <p>課題としては、次期CSDやCSCの育成があげられる。持続可能なコミュニティ・スクールの運営を目指して、引き続き次期CSDやCSCの育成に力を入れていきたい。</p>			

※CSD(コミュニティ・スクールディレクター)


CSC(コミュニティ・スクールコーディネーター)

No	42	子どもたちの安心	
事業名	小・中学校空調設備整備事業		
事業概要	小中学校の普通教室等への空調設備（エアコン）を設置し、児童生徒の健康保持の増進及び良好な教育環境の実現を目指す。		
担当課名	教育総務課	概算事業費（千円）	582,476
事業内容	R 5	R 6	R 7
	小学校 特別教室 11 室(4 校) 中学校 特別教室 6 室(2 校)	小学校 特別教室 9 室(4 校) 中学校 特別教室 6 室(2 校)	小学校 特別教室 12 室(6 校) 中学校 特別教室 6 室(2 校)
指標	特別教室空調設備設置数		
目標値	R 5	R 6	R 7
	小学校 11 室 中学校 6 室	小学校：9 室 中学校：6 室	小学校：12 室 中学校：6 室
実績 (R 4)	目標値	実績値	評価
	小学校：12 室 中学校：10 室	小学校：10 室 中学校：6 室	B 目標値の 70%から 100%未満
	R3に前倒しで実施した理科室や音楽室等各校2室の特別教室への空調設備設置により目標値を下回ったものの、学級編成による外国人指導教室への空調設備設置も加え、計画通りである。 今後も、特別教室への空調設備設置を計画的に実施し、併せて電力不足と老朽化に対応するための受電設備の更新も図っていく。		

No	43	子どもたちの安心	
事業名	小・中学校教育支援員等配置事業		
事業概要	小中学校において、特別に支援を要する児童生徒への対応のために支援員及び介助員を配置することにより、一人一人に応じた教育活動を推進するとともに、学校運営の安定につなげる。		
担当課名	学校教育課	概算事業費（千円）	436,950
事業内容	R 5	R 6	R 7
	 教育支援員・学校介助員の配置 (7時間 47名、4時間 44名、介助員 8名)		
指標	教育支援員・学校介助員を対象とした研修会開催数		
目標値	R 5	R 6	R 7
	3 回	3 回	3 回
実績 (R 4)	目標値	実績値	評価
	3 回	3 回	A 目標値以上
	R4は、支援員1人あたり26人の特別な支援を要する児童生徒（通常学級+特別支援学級）を支援した。94人の教育支援員・学校介助員の配置により、手の届く児童生徒については支援体制をとることができた。しかし、児童生徒数が減少しているにもかかわらず、発達障害や情緒的な問題を抱える児童生徒への対応は年々増加、かつ、複雑化し、難しくなっている。また、保護者の不安や学校に対する要望も強まり、より多くの教育支援員の配置を望む声が強くなり、保護者対応にも配慮が必要となり、現場教員だけでは人手が足りないという現実がある。 今後も、支援員の力量を上げるための研修会を、関係機関と連携して実施していく。		

No	44	子どもたちの安心	
事業名	小・中学校施設防災機能強化事業		
事業概要	小中学校施設の防災強化を図り、児童・生徒の安全確保と避難所としての機能を高める。		
担当課名	教育総務課	概算事業費(千円)	6,485
事業内容	R5	R6	R7
	学校体育館非構造部材(スピーカ 一等)落下防止工事(小中29校)	(事業完了予定)	
指標	整備実施学校数		
目標値	R5	R6	R7
	体育館非構造部材落下防止 29校	事業完了(予定)	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	黒板灯落下防止 12校	黒板灯落下防止 10校	B 目標値の70%から100%未満
	再調査の結果、既に対策済みの学校が2校あり、対象校数が減ったものの、教室内全ての照明器具の落下対策を完了した。 今後は、SDGS やカーボンニュートラルに向け、落下対策以外の天井直付け照明器具のLED化を図る必要がある。		

No	45	子どもたちの安心	
事業名	小・中学校校舎改修計画		
事業概要	予防保全と機能向上により、施設の延命化を図る。 ・屋上防水改修(既存防水層撤去処分のうえ、新設) ・トイレの改修(洋式化、乾式化、自動水栓化)		
担当課名	教育総務課	概算事業費(千円)	1,320,522
事業内容	R5	R6	R7
	【屋根防水改修】 磐田北小、長野小、竜洋中 【トイレ改修】 磐田北小、長野小、南部中	【屋根防水改修】 磐田北小、磐田中部小、長野小、 【トイレ改修】 磐田中部小、 磐田南小、竜洋西小、竜洋北小、 豊田東小、青城小、竜洋東小、竜 洋中、豊田南中、磐田第一中	【屋根防水改修】 磐田中部小、竜洋東小、竜洋中、 豊岡中 【トイレ改修】 東部小、富士見小、磐田西小、豊 岡南小、豊岡北小、福田小、豊浜 小、豊岡中、城山中、福田中、神 明中
指標	改修済み棟数/対象棟数 ※【トイレ改修】洋式化率(R5より)		
目標値	R5	R6	R7
	【屋根改修】 3/66 【トイレ改修】 洋式化率 40%	【屋根改修】 8/66 【トイレ改修】 洋式化率 50%	【屋根改修】 12/66 【トイレ改修】 洋式化率 60%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	【屋上防水改修】 3/66 【トイレ改修】 1/46	【屋上防水改修】 3/66 【トイレ改修】 1/46	A 目標値以上
	屋上防水改修3棟及びトイレ改修1棟の改修が計画通り完了した。 屋上防水改修は、カーボンニュートラルの視点から、熱負荷の低減が図られる断熱材入りの防水改修を計画的に進め、事後保全から予防保全に転換していく。 トイレ改修は、当初の老朽化率の高い学校から洋式化率の低い学校順とし、R5からR7までに1巡する計画に見直しを行った。また目標値も改修済み棟数から洋式化率に変更し、R4末洋式化率37.4%からR7までに60%を目指す計画とした。		

No	46		子どもたちの安心	総合戦略
事業名	広島平和記念式典小中学生派遣事業			
事業概要	市内小中学生が広島平和記念式典（原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式）に参列することで、戦争・核兵器の恐ろしさ、平和の尊さの普及啓発を図る。			
担当課名	総務課	概算事業費（千円）	7,173	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	 広島平和記念式典へ小中学生を派遣			
指標	平和記念式典小中学生参加者数			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	33 人	33 人	33 人	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	33 人	11 人	C 目標値の 70%未満	
	新型コロナウイルス感染症の影響により、中学生のみで平和記念式典への参加を行った。R5からは、新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられたため、引き続き、小中学生が平和記念式典に参加し、平和の尊さ・有り難さを体験する機会を継続していきたい。			


基本施策 3 子ども・若者の健全育成


施策の内容

- (1) 家庭の教育力の向上を図ります
- (2) 子どもや若者を健やかに育む地域づくりを進めます
- (3) 高校や大学等との連携した若者の育成を推進します

実施計画事業

No	47		子どもたちの安心	総合戦略
事業名	放課後児童クラブ運営事業			
事業概要	保護者の就労等により昼間家庭で保育できない児童に適切な遊びや生活の場を提供するため、放課後児童クラブ事業の実施と、民間保育所において実施する放課後児童クラブ事業への補助を行う。			
担当課名	放課後活動課	概算事業費(千円)	600,926	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	放課後児童クラブの運営 児童クラブの運営方法の検討 民間児童クラブ補助金交付	放課後児童クラブの運営 児童クラブの運営方法の検討 民間児童クラブ補助金交付 磐田南小児童クラブ新築実施 設計	放課後児童クラブの運営 児童クラブの運営方法の検討 民間児童クラブ補助金交付 磐田南小児童クラブ新築工事 放課後児童クラブ民間委託化	
指標	放課後児童クラブの定員数			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	1,918 人	1,918 人	1,920 人	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	1,796 人	1,796 人	A 目標値以上	
	青城小学校内に児童クラブを増設して、定員を 40 名増加した。また、向笠小、大藤小、豊岡北小の特別支援教室を借りて支援の単位を増やし定員を 112 名増加した。磐田南小第 2 児童クラブの保育スペースを拡充して定員 10 名増加した。富士見小、磐田南小、東部小の待機児童が 10 名を超えているため、引き続き、施設の確保に努めて定員を増やす取組を行っていく。			

No	48		子どもたちの安心	総合戦略
事業名	放課後子供教室推進事業			
事業概要	子どもの放課後の安全安心な活動拠点（居場所）づくり事業として、地域住民の参画を得て子どもたちと勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進し、子どもたちの放課後の居場所を確保するとともに心豊かな成長を促す。			
担当課名	学校教育課	概算事業費（千円）	6,825	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	 運営委員会の開催			
指標	指導員、サポーターの研修会実施回数			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	1 回	1 回	1 回	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	1 回	1 回	A 目標値以上	
	R4は、10校、1地区（福田小・豊浜小合同教室）が放課後子供教室を実施した。1教室については、新型コロナウイルス感染症の影響により、1学期のみ休止をしたが、2学期以降は内容を工夫して実施ができた。感染症対策に気を配りながら地域の指導者が協力して子供たちに充実した放課後の時間を提供することができた。R5は、R4と同じく、10校1地区で実施を予定している。各地区の良さを生かしながらより良い活動になるよう、研修会の充実に努めていく。			

No	49		子どもたちの安心	総合戦略
事業名	こども・若者相談事業			
事業概要	主に中学校卒業以降の若者世代とその家族を対象に、社会で自立していくためのあらゆる相談に対応するため、相談員を配置し、相談対応や助言などの支援を行う。			
担当課名	こども未来課	概算事業費（千円）	5,607	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	 ひきこもり・ニートや、高校生年代の不登校などを中心とした若者相談への対応、居場所事業			
指標	相談件数（実人数）			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	100 人	100 人	100 人	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	100 人	56 人	C 目標値の70%未満	
	新規相談者は56名に対応。継続相談者が増える中、家族会、居場所事業の充実に図り、参加者が増加した。 社会福祉協議会との連携を図り、より多くの市民にひきこもりへの関心、理解を広めていく活動を継続していく。			


実施計画事業

基本施策 1 地域福祉の推進

施策の内容

- (1) 地域福祉を担う人材を育成します
- (2) ふれあい、支え合い、助け合いの仕組みづくりを進めます
- (3) 自立した生活が送れるよう支援します

実施計画事業


No	50	子どもたちの安心	総合戦略
事業名	自立相談・就労準備支援事業 (自立支援・就労準備支援事業・学習チャレンジ支援事業)		
事業概要	生活困窮者（障がい・引きこもり含む）の就労を含めた生活相談窓口を一本化して効率化を図る。就労準備支援（生活指導含む）を重点課題として、関係機関や企業と連携し、適切なサポートを行い、1人でも多くの自立促進に繋げる。また、生活困窮世帯の子どもを対象に、高校等への進学へ向け、学習の場を提供し教育相談及び学習支援を行うことで、将来の自立促進に繋げる。		
担当課名	福祉課	概算事業費(千円)	166,843
事業内容	R5	R6	R7
	 <p>自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業 就労支援事業、就労準備支援事業、学習チャレンジ支援事業</p>		
指標	① 参加者数（就労準備支援事業） ② 参加者数（学習チャレンジ支援事業）		
目標値	R5	R6	R7
	①75人（就労準備支援事業） ②30人（学習チャレンジ支援事業）	①75人（就労準備支援事業） ②30人（学習チャレンジ支援事業）	①75人（就労準備支援事業） ②30人（学習チャレンジ支援事業）
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	①75人 ②30人	①63人 ②19人	①B 目標値の70%から100%未満 ②C 目標値の70%未満
	<p>生活困窮者自立相談における丁寧な聴き取りにより相談者の実態把握に努め、本人の特性等に合わせた適切な専門機関に繋げるなど、必要な支援を実施した。</p> <p>学習チャレンジ支援事業の実施により、生活困窮世帯等の子どもの学習意欲の醸成、居場所づくり及び進学等の促進や保護者の意識改善が図られた。</p> <p>就労準備支援事業の実施により、生活習慣を改善するための支援や社会的能力を身につけるための支援、求職活動に向けた技法や知識習得を対象者に寄り添いながら実施できた。</p> <p>なお、R5からは、自立相談支援を委託化して専門職を常時配置し、併せて、新たに家計改善支援と一時生活支援を追加することで、更なる支援体制の強化を図る。</p>		


基本施策 2 高齢者福祉の充実


施策の内容

- (1) 生きがいつくりと介護予防の充実を図ります
- (2) 住み慣れた地域で暮らすための支援の充実を図ります
- (3) 認知症施策を推進します
- (4) 高齢者支援サービスの充実を図ります


実施計画事業

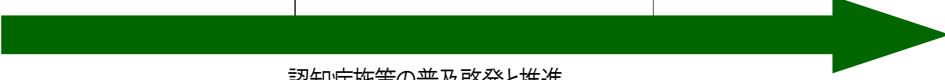
No	51		暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	介護予防・日常生活支援総合事業			
事業概要	通所による介護予防を目的とした生活機能向上のための訓練やサービス及び訪問による自立した生活を送ることができるようにするための生活支援を行う。			
担当課名	高齢者支援課	概算事業費(千円)	727,119	
	R5	R6	R7	
事業内容	 <p>介護予防・生活支援サービスの提供、事業の周知</p>			
指標	①いきいきデイサービス(緩和基準サービス)などの件数 ②家事援助サービス(緩和基準サービス)の件数			
	R5	R6	R7	
目標値	①1,637人 ②133人	①1,717人 ②136人	①1,798人 ②138人	
	目標値	実績値	評価	
実績(R4)	①1,562人 ②130人	①1,263人 ②63人	① B 目標値の70%から100%未満 ② C 目標値の70%未満	
	訪問・通所ともに前年とほぼ同等であり、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響と考察している。 事業周知を更に行い、適正なサービス提供に努めていく。			


No	52		暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	一般介護予防事業			
事業概要	介護予防に関する知識の普及啓発や、介護予防活動の育成支援を行う。			
担当課名	高齢者支援課	概算事業費(千円)	20,796	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>介護予防普及啓発の実施 ボランティアの育成・活動支援</p>			
指標	介護予防普及啓発事業実施回数			
目標値	R5	R6	R7	
	246回	246回	246回	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	244回	239回	B 目標値の70%から100%未満	
	<p>新型コロナウイルス感染症の流行により、いきいき百歳体操の専門職派遣が活動を休止していたり、今年は見合わせたいといったことがあり、派遣が思うように伸びなかった。 R4は、前年度まで中止していたまちの保健室が再開し、予約制で開始したり、出張まちの保健室を実施して、目標に近づけることができた。</p>			


No	53		暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	生活支援体制整備事業			
事業概要	ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘、地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター」の活動支援を行う。			
担当課名	高齢者支援課	概算事業費(千円)	858	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>生活支援コーディネーターの活動支援 生活支援体制整備協議体の運営 生活支援コーディネーターの体制見直しの検討</p>			
指標	地域資源件数(生活支援コーディネーターが把握している資源)			
目標値	R5	R6	R7	
	420件	430件	430件	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	410件	421件	A 目標値以上	
	<p>既存の高齢者サロン等で参加者減少による休止があった一方で、既存の趣味や生きがい活動の団体以外にも、民間事業者による居場所づくりの発見など地域資源の把握に取り組むことができた。</p>			

No	54	暮らしと健康の安心	
事業名	地域包括支援センター運営事業		
事業概要	地域住民の心身の健康の保持及び生活安定のために必要な援助と、保健医療の向上及び福祉の増進を図るため、地域包括支援センターの適切な運営を行う。		
担当課名	高齢者支援課	概算事業費(千円)	550,479
事業内容	R5	R6	R7
	高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センター運営	高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センター運営 R7以降の委託先決定	高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センター運営
指標	地域包括支援センターの相談件数		
目標値	R5	R6	R7
	28,000件	28,000件	28,000件
実績(R4)	目標値	実績値	評価
	24,000件	27,647件	A 目標値以上
	<p>高齢者や高齢者のみ世帯が増加している中、認知症高齢者と精神疾患のある子の世帯への対応など、問題が複合化している相談件数が増え、ケース対応の負担が大きくなっている。</p> <p>中部、城山・向陽包括支援センターが職員数の増に伴い手狭となっているため、事務所の場所変更などの検討が必要である。</p>		

No	55	暮らしと健康の安心		総合戦略
事業名	家族介護・自立生活支援事業			
事業概要	地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続できるようにするため、要介護者や介護する者等に対し、地域の実情に応じた必要な支援を行う。			
担当課名	高齢者支援課	概算事業費(千円)	201,340	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>認知症普及啓発 緊急通報システム(相談)の貸与 紙おむつ購入費助成の実施・検討</p>			
指標	認知症サポーター数			
目標値	R5	R6	R7	
	21,000人	22,000人	23,000人	
実績(R4)	目標値	実績値	評価	
	19,800人	19,521人	B 目標値の70%から100%未満	
	<p>小中学校・大学・金融機関・地区サロン等、幅広い年齢層へ認知症サポーター養成講座が開催でき、ほぼ目標通りの人数を達成できた。</p>			

No	56		暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	認知症高齢者等支援事業 (認知症総合支援事業、認知症高齢者等個人賠償責任保険事業)			
事業概要	認知症への理解・関心を高めるための普及啓発及び認知症の人を含む高齢者に優しい地域づくりを推進する。また、市が一括して保険に加入し、認知症高齢者等が事故で損害賠償責任を負った場合に保険金を支払う。			
担当課名	高齢者支援課	概算事業費(千円)	6,975	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>認知症施策の普及啓発と推進 認知症高齢者等個人賠償責任保険に加入</p>			
指標	認知症高齢者等個人賠償責任保険の加入者数			
目標値	R5	R6	R7	
	200人	200人	200人	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	180人	169人	B 目標値の70%から100%未満	
	<p>コロナ禍が続いたが、感染対策を行った中で工夫しながらほぼ計画どおり事業を開催することができた。認知症高齢者等個人賠償責任保険については、必要とする人が加入できるよう、さらなる周知が必要と考える。</p>			

No	57		暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	成年後見制度利用促進事業(成年後見支援センターの開設)			
事業概要	成年後見制度の利用促進を図るため、広報、相談、市民後見人等への支援を行う成年後見支援センターの運営を行う。			
担当課名	高齢者支援課	概算事業費(千円)	25,364	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>成年後見制度利用促進のための普及啓発、相談支援、関係機関との連携、市民後見人養成</p>			
指標	相談件数(関係機関からの相談を含む)			
目標値	R5	R6	R7	
	240件	240件	240件	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	160件	105件	C 目標値の70%未満	
	<p>8月に成年後見支援センターを開設。センターの周知と制度の広報のために、市内全交流センター等での制度説明会・相談会を実施(188名参加有)。 開設以降、本人を含めた家族や相談機関等から成年後見制度利用等で105件の相談・問合せがあった。 R5は、新たに権利擁護検討会を設置し、ケースの検証や成年後見申立に係る受任調整を図る体制を構築していく。 金融機関やライフライン事業者など権利擁護を取り巻く関係機関等とのネットワークづくりが今後の課題である。</p>			


No	58	暮らしと健康の安心	
事業名	介護施設等基盤整備事業		
事業概要	地域密着型サービス事業所が実施する施設整備及び開設準備に対し補助を行う。		
担当課名	高齢者支援課	概算事業費(千円)	4,320
事業内容	R5	R6	R7
	第9期介護保険事業計画の策定	 第9期介護保険事業計画に基づく施設整備	
指標	事業者選定による介護施設の確保		
目標値	R5	R6	R7
	1施設	未定 ※第9期介護保険事業計画 策定後に決定する	未定 ※第9期介護保険事業計画 策定後に決定する
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	4施設	4施設	A 目標値以上
小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)について補助金を交付し、年度内に整備を完了した。			


基本施策 3 障がい児者福祉の充実


施策の内容


- (1) 相互理解と社会参加を促進します
- (2) 障がい福祉サービスの充実を図ります
- (3) 障がい者雇用・就労を促進します

実施計画事業

No	59		暮らしと健康の安心
事業名	在宅障害者支援事業		
事業概要	在宅障害者の日常生活支援及び社会参加の促進のために助成を行う。		
担当課名	福祉課	概算事業費(千円)	111,197
事業内容	R5	R6	R7
	 <p>在宅障害者に対する支援 障害者タクシー利用料金助成の実施 ライフサポート事業費補助金の交付 障害者福祉施設通所費助成の実施</p>		
指標	障害者福祉施設通所費助成受給者数		
目標値	R5	R6	R7
	545人	550人	555人
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	480人	539人	A 目標値以上
在宅障がい者に対し助成をすることで日常生活の支援や社会参加の促進を図ることができた。通所助成の申請は利用者が事業者の印をもらい提出するため、利用者の手間が多くなってしまうので改善していきたい。			

No	60	暮らしと健康の安心	
事業名	障害者医療費等助成事業		
事業概要	障害者の生活を安定させるための年金制度への助成及び障害者並びに介護者に医療費を助成することにより自己負担の軽減を図る。		
担当課名	福祉課	概算事業費(千円)	1,036,269
事業内容	R5	R6	R7
	 <p>心身障害者扶養共済事業の実施 重度障害児者医療費の助成 精神障害者医療費の助成</p>		
指標	精神障害者医療費受給者数		
目標値	R5	R6	R7
	200人	200人	200人
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	200人	160人	B 目標値の70%から100%未満
	新型コロナの影響で精神入院者数が減少したが、障がい者に対し医療費の助成をすることで、自己負担の軽減を図ることができた。		

No	61	暮らしと健康の安心		総合戦略
事業名	障害者地域生活支援事業			
事業概要	障害者(児)がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援する。			
担当課名	福祉課	概算事業費(千円)	524,552	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>障害者相談支援センター・障害者・虐待防止センターの委託 日中一時支援事業・日常生活用具給付等の実施 手話通訳、要約筆記者派遣 ほか</p>			
指標	地域生活支援事業利用者数 (移動支援・日中一時支援)			
目標値	R5	R6	R7	
	410人	420人	430人	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	410人	392人	B 目標値の70%から100%未満	
	新型コロナの影響で利用者数が減少したが、障害者に対し助成をすることで、地域における日常生活や社会参加の促進を図ることができた。 今後は、複雑化及び障害者数の増加への対応のため、相談事業の機能強化を継続的に実施する必要がある。			


No	62	暮らしと健康の安心		総合戦略
事業名	障害者福祉施設及び児童福祉施設整備費補助事業			
事業概要	障害者及び児童福祉施設建設費や施設整備の借入金の償還金に対する補助金を交付する。			
担当課名	福祉課/こども未来課	概算事業費 (千円)	184,903	
事業内容	R5	R6	R7	
	 施設整備・償還金の助成			
指標	①障害者福祉施設 助成対象施設数 ②児童福祉施設 助成対象施設数			
目標値	R5	R6	R7	
	①12 施設 ②2 施設	①13 施設 ②2 施設	①13 施設 ②2 施設	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	①12 施設 ②2 施設	①12 施設 ②2 施設	A 目標値以上	
	障害者施設の施設整備償還金の補助を行い、障害者福祉施設の充実を図ることができ、利用者の環境整備が図られた。 障害者に対し助成をすることで、地域における日常生活や社会参加の促進を図ることができた。 R5は児童福祉施設の整備費補助及び償還金の一部補助を行う。今後も、発達障害をはじめとした障害児支援のために真に必要な施設の整備支援を行っていく。			


基本施策 4 健康づくりの推進


施策の内容


- (1) 生活習慣病予防を推進します
- (2) 健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指します
- (3) 感染症対策を推進します


実施計画事業

No	63		暮らしと健康の安心
事業名	がん等検診事業		
事業概要	がん検診等を実施することで、疾病の早期発見・早期治療を促すとともに予防意識を高め、健康の維持・増進を図る。		
担当課名	健康増進課	概算事業費(千円)	320,775
事業内容	R5	R6	R7
	 <p>がん検診等の実施 (胃がん、胃がんリスク、大腸がん、結核・肺がん、乳がん、 子宮頸がん、前立腺がん、肝炎ウイルス、骨、歯科、生活保護者健診)</p>		
指標	胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん・前立腺がんの各検診の受診者数(延べ)		
目標値	R5	R6	R7
	44,005人	44,005人	44,005人
実績(R4)	目標値	実績値	評価
	44,005人	38,149人	B 目標値の70%から100%未満
<p>初めてがん検診の推奨年齢となった方で、かつ未受診の方への通知やSNSを通じ受診の呼びかけを行ったが、受診者数は、コロナ禍前の数値まで至らなかった。R5は、女性限定の受診日の追加やを新たに設定するなど、受診しやすい体制を確保していく。</p>			

No	64	暮らしと健康の安心	
事業名	国民健康保険特定健康診査等事業		
事業概要	国保被保険者の40～74歳を対象に特定健康診査を実施するとともに、生活習慣病予防の保健指導が必要な対象者を抽出し、特定保健指導を実施する。		
担当課名	健康増進課	概算事業費(千円)	354,761
事業内容	R5	R6	R7
	 <p>特定健診の実施 保健指導の実施</p>		
指標	特定健康診査受診者数		
目標値	R5	R6	R7
	11,520人	12,500人	13,420人
実績(R4)	目標値	実績値	評価
	12,748人	10,309人	B 目標値の70%から100%未満
	未受診者へのはがきによる勧奨や商工・農業団体との連携による受診の呼びかけを行ったが、受診者数はコロナ禍前の数値には至らなかった。引き続き、受診勧奨を継続するとともに、受診者の利便性・受診率向上のため、WEB予約の導入などを検討していく。		

No	65	暮らしと健康の安心	
事業名	後期高齢者健康診査事業		
事業概要	疾病の重症化予防を目的として、後期高齢者医療の被保険者に対し、健康診査等を実施する。		
担当課名	健康増進課	概算事業費(千円)	172,769
事業内容	R5	R6	R7
	 <p>後期高齢者の健診等の実施</p>		
指標	後期高齢者健康診査受診者数		
目標値	R5	R6	R7
	5,430人	6,742人	8,018人
実績(R4)	目標値	実績値	評価
	5,097人	4,213人	B 目標値の70%から100%未満
	地域包括支援センターと連携し、健診や医療機関の受診歴がない方へ受診を呼び掛けた。引き続き、地域包括支援センターと連携していくとともに、高齢者が自身の身体の状態を顧みるよう周知、啓発をしていく。		

No	66		暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	妊産婦・乳幼児健診事業			
事業概要	母子保健法に基づき、妊産婦・乳児の個別健診及び幼児の集団健診を実施し、妊産婦・乳幼児の健康の保持増進、病気などの早期発見を図る。			
担当課名	こども未来課	概算事業費(千円)	412,183	
事業内容	R5	R6	R7	
	 妊産婦・乳幼児健診事業の実施			
指標	妊婦歯科健診受診率			
目標値	R5	R6	R7	
	55%	55%	55%	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	55%	52%	B 目標値の70%から100%未満	
	乳児健診は前年度に続き受診率は95%以上であった。妊婦歯科健診はコロナ禍ということもあり、目標値に達しなかったため、引き続き、啓発を行っていく。 妊産婦健診、幼児健診は、医療機関と連携し、支援の必要な母子を早期に発見しつつ、母子の信頼を得た地区担当保健師が切れ目ない支援を行っており、引き続き、早期から母子へ関わる体制作りを継続していく。			


No	67		暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	まちの保健室事業			
事業概要	住民主体の健康な地域づくりを推進するために、地域へ出向く事業を展開し、生活習慣病予防対策等の充実を図る。			
担当課名	健康増進課	概算事業費(千円)	9,444	
事業内容	R5	R6	R7	
	 まちの保健室 健康教育(講座等) 健康相談(定期相談、随時相談) 成人家庭訪問(健診事後指導)			
指標	まちの保健室や健康教育の実施回数			
目標値	R5	R6	R7	
	110回	110回	110回	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	170回	157回	B 目標値の70%から100%未満	
	定例のまちの保健室を予約制で再開した。 市民が集まる場所に出向いて相談できるように子育て支援センターで出張まちの保健室を実施。普段来ている場所で、健康教育と健康相談ができると好評だった。引き続き、相談したい時に相談できる体制づくりと、交流センターや地域と協働による健康づくりを進めていく。			


基本施策 5 地域医療体制の充実

施策の内容

- (1) 市立総合病院の機能の充実を図ります
- (2) 地域医療連携体制の充実を図ります
- (3) 災害時医療体制を充実・強化します
- (4) 救急医療体制の充実を図ります

実施計画事業

No	68		暮らしと健康の安心
事業名	若年がん等支援事業		
事業概要	若年がん患者等の社会復帰や療養生活に係る負担を軽減するために支援をする。助成制度を通じ骨髄移植への理解とドナー登録の推進を図る。		
担当課名	健康増進課	概算事業費(千円)	17,913
事業内容	R5	R6	R7
	 <p>若年がん患者等の支援 <small>（妊孕性温存治療費、医療用補整具購入費、在宅療養生活費）</small> 骨髄移植ドナー支援</p>		
指標	若年がん等支援事業の助成者数及び骨髄ドナーの登録者数		
目標値	R5	R6	R7
	120人	120人	120人
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	120人	98人	B 目標値の70%から100%未満
今年度は、 <small>妊孕性温存治療費</small> 助成事業（生殖補助医療）や骨髄ドナー支援事業（ドナー雇用事業所）への支援を拡充したため、引き続き、病院等との連携やSNS等を活用して事業の浸透と周知を図っていく。また、強化月間等を活用して周知機会を増やしていく。			

No	69	まちづくりと防災への安心	
事業名	災害医療救護体制整備事業		
事業概要	指定救護所に医薬品を配備するとともに、医療関係団体と災害時医療救護訓練を実施することにより、災害時に円滑な医療救護活動が実施できるように災害医療体制を整備する。		
担当課名	健康増進課	概算事業費(千円)	31,256
事業内容	R5	R6	R7
	指定救護所への医薬品の配備 参集体制の見直し 三師会等との災害時医療救護訓練の実施 市民啓発の実施	 指定救護所への医薬品の配備 三師会等との災害時医療救護訓練の実施 市民啓発の実施	
指標	市が第4次被害想定を踏まえて準備をしている医薬資材により対応可能な人数		
目標値	R5	R6	R7
	2,900人	2,900人	2,900人
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	2,900人	2,900人	A 目標値以上
	医療資機材は、新たな配備計画に基づいた内容で更新が完了した。引き続き、定期的な更新、資機材の配置状況の確認等を行い災害に柔軟に対応できる配備をしていく。また、地域の防災の関係者へ災害時の医療救護について講話を実施し市民の理解を深めた。参集体制も含め災害時に柔軟に対応できる体制を検討していく。		

実施計画事業

基本施策 1 危機管理・防災対策の推進

施策の内容

- (1) 危機管理体制を強化します
- (2) 地域防災力の向上を図ります
- (3) 風水害対策を推進します
- (4) 大規模地震・津波対策を推進します
- (5) 建築物などの耐震化を促進します
- (6) 原子力防災対策を推進します


実施計画事業


No	70		まちづくりと防災への安心	
事業名	地域防災計画等策定事業			
事業概要	防災会議、国民保護協議会を開催し、諸計画の策定を実施するとともに、原子力災害時の避難先との調整を行う。			
担当課名	危機管理課	概算事業費(千円)	26,402	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	地域防災計画の見直し 原子力災害広域避難計画の見直し など	地域防災計画の見直し 防災ファイル作成委託 原子力災害広域避難計画 ガイドブック作成 など	地域防災計画の見直し 中小河川ハザードマップ作成委託 など	
指標	地震・津波対策アクションプログラムの進捗率			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	100%	100%	100%	
実績 (R 4)	目標値	実績値	評 価	
	100%	86%	B 目標値の70%から100%未満	
	磐田市地域防災計画の見直しを実施した。 原子力災害広域避難計画は、岐阜県の全市町へオンライン説明会を実施し、一定の理解を得たが、実効性を高めるため、引き続き県等と協議し、見直しを図っていく。 また、その他の今後の取組として、防災ファイルの更新及び中小河川ハザードマップを作成していく。			

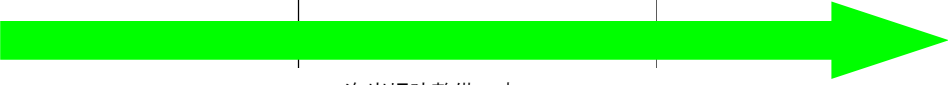
No	(新規)71	まちづくりと防災への安心	
事業名	災害からの教訓 システム構築		
事業概要	迅速な罹災証明の発行や全庁的な情報共有、リスク情報をリアルタイムで集約し、避難情報の発令に活用するためシステム構築及び導入を行う。		
担当課名	危機管理課	概算事業費(千円)	29,665
事業内容	R5	R6	R7
	被災者生活再建支援システム及び冠水センサーの導入 SNS・AIを活用した災害情報システムの試験導入	SNS・AIを活用した災害情報システムの本格導入と維持管理	SNS・AIを活用した災害情報システムの維持管理
指標	防災関係システム等の導入実績		
目標値	R5	R6	R7
	被災者生活再建支援システム導入 冠水センサーの設置 5個 その他試験導入	SNS・AIを活用した災害情報システムの本格導入と維持管理	SNS・AIを活用した災害情報システムの維持管理


No	(新規)72	まちづくりと防災への安心	
事業名	豊岡支所施設整備事業		
事業概要	市民と職員の安全性の向上及び防災拠点の機能確保した支所庁舎の改修を行う。		
担当課名	豊岡支所市民生活課	概算事業費(千円)	417,760
事業内容	R5	R6	R7
	書庫棟解体工事	敷地造成工事 豊岡支所新築工事 流末排水路改修工事	(R6事業完了予定)
指標	工事進捗率(事業費ベース)		
目標値	R5	R6	R7
	3%	100%	(R6事業完了)

No	73	まちづくりと防災への安心	
事業名	下水道施設（雨水）整備事業（旧大島排水ポンプ場施設整備事業）		
事業概要	浸水被害を軽減させるため、排水ポンプ場や雨水管渠等の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	1,072,000
事業内容	R5	R6	R7
	大島排水ポンプ場機械電気設備工事 既設ポンプ場耐震補強・改築設計等	大島排水ポンプ場場内整備工事 既設ポンプ場耐震補強・改築設計等	既設ポンプ場改築工事 既設ポンプ場改築設計等
指標	大島排水ポンプ場等事業進捗率（%）（事業費ベース）		
目標値	R5	R6	R7
	31%	37%	42%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	19%	23%	A 目標値以上
	大島排水ポンプ場の機械電気設備の工事に着手した。 R4.9月の台風15号による豪雨災害を受けて、ストックマネジメント計画等を見直し、 既設ポンプ場の設備更新や改築等を推進していく。		

No	74	まちづくりと防災への安心	
事業名	下水道施設（雨水）維持管理事業（旧都市下水路施設管理事業）		
事業概要	排水ポンプ場の運転管理や浸水被害を防止するための施設の維持管理を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	788,977
事業内容	R5	R6	R7
	雨水管渠及びポンプ場(11施設)の 維持管理	 雨水管渠及びポンプ場(12施設)の維持管理	
指標	ポンプ運転管理委託数		
目標値	R5	R6	R7
	11件	12件	12件
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	11件	11件	A 目標値以上
	施設の適正な維持管理を行った。今後、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加が見込まれる。		

No	75	まちづくりと防災への安心	
事業名	普通河川等改修事業		
事業概要	自治会要望による普通河川・排水路の改修及び維持修繕を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費(千円)	543,000
事業内容	R5	R6	R7
	 排水路修繕・改良工事・浸水対策工事等		
指標	自治会要望実施件数		
目標値	R5	R6	R7
	120件	120件	120件
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	120件	122件	A 目標値以上
	地元要望による河川等の改修工事を実施した。 R4.9月の台風15号による豪雨災害を受けて、排水路側壁のかさ上げやバイパス水路の設置など浸水対策工事を推進していく。		

No	76	まちづくりと防災への安心		総合戦略
事業名	海岸堤防整備事業			
事業概要	静岡県第4次地震被害想定レベル2の津波に対応した静岡モデルによる海岸堤防整備を実施する。			
担当課名	農林水産課	概算事業費(千円)	9,759,269	
事業内容	R5	R6	R7	
	 海岸堤防整備工事 海岸堤防にかかる広報			
指標	海岸堤防の整備進捗率(%) (市施工分延長ベース)			
目標値	R5	R6	R7	
	50%	58.4%	66.5%	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	44.1%	42.1%	B 目標値の70%から100%未満	
	海岸保全工区では、CSG工法による海岸堤防の整備を行うため、CSG製造プラントの設置に着手し、進捗を図っている。一方、同工区における用地取得に時間を要したが、取得に目途が付き、着実に事業を進捗させていく。 海岸防災林工区では、豊浜地区の着手に向け、調査や設計、ダンプトラックの通行ルートを検討を行った。			


No	77	まちづくりと防災への安心		総合戦略
事業名	建築物等耐震改修促進事業			
事業概要	地震時の建物の倒壊等による被害を軽減するため、建物の耐震化や耐震性に劣る木造住宅の除却、避難空間を確保できる耐震シェルターの設置、屋根の耐風化等に対して支援を行う。			
担当課名	建築住宅課	概算事業費(千円)		194,939
事業内容	R5	R6	R7	
	 <ul style="list-style-type: none"> ●木造住宅耐震診断委託業務 ・木造住宅耐震補強工事(補強計画一体型) ・木造住宅除却工事 ・耐震シェルター等整備事業 ・ブロック塀等撤去・建替え事業 ・屋根耐風改修促進事業 ほか 		<ul style="list-style-type: none"> ●下記補助金等の交付 ・木造住宅耐震補強工事(補強計画一体型) ・木造住宅除却工事 ・耐震シェルター等整備事業 ・ブロック塀等撤去・建替え事業 ・屋根耐風改修促進事業 ほか 	
指標	木造住宅の耐震補強補助金件数(累計)			
目標値	R5	R6	R7	
	1,323件	1,355件	1,377件	
実績(R4)	目標値	実績値	評価	
	1,301件	1,301件	A 目標値以上	
	<p>緊急輸送路沿道の通行障害建築物(1棟)の除却工事をR3からR4にかけて実施した。また、屋根耐風改修促進事業を創設した。</p> <p>R6で終了する木造住宅耐震診断委託業務は、診断未実施の方にDM等で周知した結果、診断件数が186件と前年度59件と比較し大幅に増加した。</p> <p>また、木造住宅耐震化補助制度もR7で終了するため、一層の周知・啓発に努めていく。</p>			


基本施策 2 消防・救急体制の充実


施策の内容

- (1) 消防力の強化を図ります
- (2) 火災予防を推進します
- (3) 救急・救助体制の充実を図ります

実施計画事業

No	78	まちづくりと防災への安心	
事業名	中東遠消防指令センター運営事業		
事業概要	中東遠地域において消防通信指令業務を共同で運用する。		
担当課名	消防総務課	概算事業費(千円)	2,731,308
事業内容	R5	R6	R7
	新指令システム納入メーカー選定(プロポーザル方式) 新指令システム詳細設計 指令システム更新に伴う庁舎・設備改修	 新指令システム納入据付(R7.4月運用開始) 指令センター電気設備防水壁設置工事	
指標	通信設備が正常に機能した稼働日数率(%)		
目標値	R5	R6	R7
	100%	100%	100%
実績(R4)	目標値	実績値	評価
	100%	100%	A 目標値以上
指令システム全更新に向けシステム要求水準を検討し仕様書に取りまとめ、概算事業費の積算及び市町負担金を試算した。緊急防災減災事業債の活用に向け関係部局と調整し資料を整え起債協議に備えるとともに、指令システム構築メーカー決定のためのプロポーザルの資料を整えた。 スケジュール感を的確に把握し、確実に事業の進捗を図っていく。			

No	79	まちづくりと防災への安心	総合戦略
事業名	常備消防資機材整備事業		
事業概要	災害対応資機材の新規導入及び更新整備により、市民の生命、身体、財産を災害から保護するとともに、隊員等の安全管理体制の充実強化を進める。		
担当課名	警防課	概算事業費(千円)	37,518
事業内容	R5	R6	R7
	 消耗資機材・備品購入		
指標	装備更新計画に基づく単年度資機材整備率		
目標値	R5	R6	R7
	100%	100%	100%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	100%	100%	A 目標値以上
	資機材の整備を予定通りに実施した。今後、老朽化した空気ボンベ充填施設の更新が必要となる。		


No	80	まちづくりと防災への安心	総合戦略
事業名	常備消防車両更新事業		
事業概要	様々な災害及び多種多様な消防需要に的確に対応するため、新たな車両を導入するとともに、老朽化した車両の更新を進める。		
担当課名	警防課/消防総務課	概算事業費(千円)	128,163
事業内容	R5	R6	R7
	 消防車両更新		
指標	消防車両の更新台数		
目標値	R5	R6	R7
	2台	2台	3台
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	3台	1台	C 目標値の70%未満
	救急自動車1台を更新配備した。更新予定のポンプ自動車(CD-I)、後方支援消防自動車(支援車II型)は納車が遅れたことにより、R5に事業繰越する(R5目標値には含まず)。		

No	81	まちづくりと防災への安心	
事業名	非常備消防資機材整備維持管理事業		
事業概要	消防団活動の円滑化及び災害対応能力を向上させるため、資機材の新規導入及び更新整備を行う。		
担当課名	警防課	概算事業費(千円)	16,989
事業内容	R5	R6	R7
	可搬ポンプ更新		
指標	可搬ポンプ整備数		
目標値	R5	R6	R7
	1台	2台	2台
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	2台	2台	A 目標値以上
	2台の可搬ポンプを更新した。引き続き、計画及び老朽化を考慮し更新を推進する。		

No	82	まちづくりと防災への安心	
事業名	非常備消防車両更新事業		
事業概要	地域の安全・安心を確保するため、消防車の更新整備を行う。		
担当課名	警防課	概算事業費(千円)	100,292
事業内容	R5	R6	R7
	消防車両更新		
指標	消防車両の更新台数		
目標値	R5	R6	R7
	2台	4台	3台
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	2台	2台	A 目標値以上
	2台の消防車両の更新を行った。今後も、本体及び艀装費の増額が見込まれるため、装備の適正化を図るとともに、更新計画の見直し、老朽化への対策、地域性及び適正な配置について検討を重ねていく。		

No	83	まちづくりと防災への安心	総合戦略
事業名	消防団活動拠点施設管理事業		
事業概要	消防防災体制の確立と消防団の活動環境の整備を図るため、消防団活動拠点を適正に維持管理する。		
担当課名	警防課	概算事業費(千円)	47,177
事業内容	R5	R6	R7
	塗装改修	外壁改修工事	塗装改修
指標	コミュニティ消防センター改修工事棟数		
目標値	R5	R6	R7
	2棟	1棟	1棟
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	2棟	2棟	A 目標値以上
	R4は2箇所の改修工事を実施した。今後も、施設の現況を把握し、更新時期及び耐用年数の延伸等、更新計画の見直しを検討していく。		

No	84	まちづくりと防災への安心	
事業名	消防庁舎建設事業		
事業概要	磐田市消防署の老朽化に伴い、新庁舎の建設について協議・検討を進め、消防庁舎施設整備計画の策定を推進する。		
担当課名	消防総務課	概算事業費(千円)	550,876
事業内容	R5	R6	R7
	基本計画策定 基本設計(R5~6)	基本設計 実施設計(R6~7)	実施設計 用地買収 造成工事(R7~9)
指標	R3~R4：東部分遣所を含む消防庁舎(消防署)の整備個別計画の策定 R5：東部分遣所を含む消防庁舎(消防署)の整備個別計画の策定、基本設計(プロポーザル方式) R6~7：基本設計、実施設計、用地買収、造成工事		
目標値	R5	R6	R7
	基本計画策定 基本設計(R5~6)	基本設計 実施設計(R6~7)	実施設計 用地買収 造成工事(R7~9)
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	基本計画策定 整備個別計画策 定	「磐田市消防庁舎 整備基本計画(案)」 の策定	B 目標値の70%から100%未満
	「磐田市消防庁舎整備基本計画」の策定を進め、消防署等整備検討部会で調査・研究を行ってきたほか、磐田市消防庁舎整備検討委員会にて、候補地の視察や検討部会で取り纏めた本計画案について審議を行った。本計画で示す移転予定地については、消防本部所属長による協議、検討委員会での候補地視察を経て、委託調査の内容を参考に委員会で協議決定した。		


No	85	まちづくりと防災への安心	
事業名	消防水利施設整備事業		
事業概要	耐震性貯水槽の新規設置及び市内に設置されている既存防火水槽の耐震化率向上のために更新整備を図ると共に、既存防火水槽等の修繕を行う。 また、水道事業会計に対する負担金により消火栓の設置及び維持管理を行う。		
担当課名	警防課	概算事業費(千円)	280,370
事業内容	R5	R6	R7
	 耐震性貯水槽設置		
指標	耐震性貯水槽 40 m ³ 設置数		
目標値	R5	R6	R7
	4基	4基	4基
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	4基	4基	A 目標値以上
	R5以降も目標数を4基として設置していくとともに、水道事業会計に対する負担金により消火栓の設置及び維持管理を行っていく。 また、経年劣化で漏水している貯水槽などの修繕も計画的に行う必要がある。		


基本施策 3 市民生活の安全・安心の確保


施策の内容

- (1) 防犯活動を推進します
- (2) 交通安全対策を推進します
- (3) 消費生活対策を推進します

実施計画事業

No	86		まちづくりと防災への安心	総合戦略
事業名	地域防犯活動支援事業			
事業概要	誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、地域づくり協議会や警察と連携し、市民の防犯意識の高揚を図る。			
担当課名	自治デザイン課	概算事業費(千円)	42,534	
事業内容	R5	R6	R7	
	 <p>通学路防犯カメラ設置事業費補助金の交付 磐田警察署管内防犯協会負担金 迷惑電話防止装置購入費補助金の交付</p>			
指標	犯罪発生件数 ※1月1日～12月31日			
目標値	R5	R6	R7	
	681件	681件	681件	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	681件	744件	B 目標値の70%から100%未満	
安全なまちづくりを推進するため、防犯カメラの維持管理、通学路防犯カメラを設置した5自治会等及び迷惑電話防止装置を購入した19人に補助金を交付した。R5においても同様の取組を継続していく。				

No	87	まちづくりと防災への安心	
事業名	交通安全啓発事業		
事業概要	交通事故を削減するため、地域づくり協議会や警察と連携を図り、市民の交通ルール・マナーの向上と交通安全意識の高揚を図る。		
担当課名	自治デザイン課	概算事業費(千円)	55,242
事業内容	R5	R6	R7
	 <p>交通安全運動などの啓発事業の実施 交通安全指導員設置負担金</p>		
指標	交通事故(人身事故)件数の減少 ※1月1日～12月31日		
目標値	R5	R6	R7
	938件	938件	938件
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	959件	938件	A 目標値以上
	人身事故発生件数はR3と比較し21件減少した。引き続き、急発進抑制装置設置の普及に努め、高齢ドライバーのアクセルとブレーキの踏み間違いによる重大事故防止に取り組む。また、反射材の着用を促進するなど事故防止の推進を図る。		

No	88	暮らしと健康の安心	
事業名	各種専門相談事業		
事業概要	市民の悩みや不安等を解消するため、各種専門相談の場を提供し、市民生活の向上を図る。		
担当課名	広報広聴・CP課	概算事業費(千円)	7,989
事業内容	R5	R6	R7
	 <p>専門相談相談窓口の運営 消費生活相談窓口及び啓発活動 消費者教育の充実</p>		
指標	消費者及び相続セミナー、終活、消費者講座参加者数		
目標値	R5	R6	R7
	1,400人	1,400人	1,400人
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	1,400人	468人	C 目標値の70%未満
	新型コロナウイルス対策のため、開催回数、参加人数等、実施可能な範囲で行った。		

実施計画事業

基本施策 1 計画的な土地利用の推進

施策の内容

- (1) 将来を見据え、バランスの取れた土地利用を推進します
- (2) 景観に配慮したまちづくりを進めます
- (3) 地籍調査を推進します

実施計画事業


No	89		まちづくりと防災への安心
事業名	都市計画調査事業		
事業概要	都市づくりに関連する市民や企業のニーズに対応するため、都市計画マスタープランに基づき都市計画決定等の手続きを行う。		
担当課名	都市計画課	概算事業費(千円)	46,391
事業内容	R5	R6	R7
	西遠都市圏総合都市交通体系調査 立地適正化計画検証 地形図データ一部修正業務委託	西遠都市圏総合都市交通体系調査 屋外広告物誘導実施計画改定 都市計画道路見直し	天王山線見直し 都市計画道路見直し計画(R6⇒R7 へ変更) 都市マス及び立地適正化計画改定
指標	都市計画決定数		
目標値	R5	R6	R7
	1件	1件	1件
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	0件	0件	A 目標値以上
	R5の都市計画決定に向け調整をしている状況であり、今後、計画推進のため関係部署との連携を図りながら迅速に対応していく。		

基本施策 2 公共交通体系と道路網の整備

施策の内容


- (1) 道路の整備・維持管理を推進します
- (2) 公共交通の充実を図ります

実施計画事業

No	90		まちづくりと防災への安心	総合戦略
事業名	照明灯維持管理事業（照明灯LED化事業）			
事業概要	安全・安心な生活環境の維持を図るため、照明灯・防犯灯の設置・維持管理・LED化を実施する。また、自治会設置の防犯灯に対する補助金を交付する。			
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	89,151	
事業内容	R5	R6	R7	
			照明灯の維持管理 自治会への防犯灯設置費の補助	
指標	①行政設置照明灯のLED化実施数 ②防犯灯設置事業費補助金の交付件数			
目標値	R5	R6	R7	
	① — ②120件	① — ②120件	① — ②120件	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	①31件 ②120件	①31件 ②86件	① A 目標値以上 ② B 目標値の70%から100%未満	
	R4は中泉新貝幹線周辺などの照明灯LED化工事を完了した。R4をもって計画していたLED化工事が完了したため、R5以降はこれら道路照明施設の維持管理を行う。			


No	91	子どもたちの安心	
事業名	通学路整備事業		
事業概要	通学路の安全を図るため、歩道等の整備を行なう。		
担当課名	道路河川課	概算事業費(千円)	200,000
事業内容	R5	R6	R7
	測量設計 用地買収 通学路整備工事	測量設計 通学路整備工事	(向笠竹之内東西1号線) 測量設計 通学路整備工事
指標	整備実施率 ※(工事・設計委託・用地取得) / 採択数		
目標値	R5	R6	R7
	50%	50%	50%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	50%	100%	A 目標値以上
	今後も通学路の通行安全を確保するために、優先順位を設けて計画的に進めていく。現状の要望箇所は全て採択して進捗を図っているが、要望に対して50%の採択率を維持していく。		


No	92-1	まちづくりと防災への安心	
事業名	主要幹線道路改良事業(堀之内駒場線改良事業)		
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費(千円)	221,000
事業内容	R5	R6	R7
	歩道工	交差点改良	道路改良工 (完成予定)
指標	事業進捗率(%) (事業費ベース)		
目標値	R5	R6	R7
	93%	97%	100%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	89%	90%	A 目標値以上
	通学路区間の歩道整備を進め、一部供用に向けた準備ができた。今後も継続して県道接続区間に係る関係者協議に取り組み、事業完了に向けた計画的な事業進捗を図る。		

No	92-2	まちづくりと防災への安心	
事業名	主要幹線道路改良事業(高木蛭池幹線改良事業)		
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費(千円)	240,000
事業内容	R5	R6	R7
	 道路改良工事 用地買収 物件移転補償		
指標	事業進捗率(%) (事業費ベース)		
目標値	R5	R6	R7
	66%	68%	70%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	64%	63%	B 目標値の70%から100%未満
	用地買収、物件移転補償、道路改良工事を実施した。計画的な事業進捗が図れるよう、引き続き用地買収、物件移転補償、道路改良工事を実施し、通行の安全を確保する。		


No	92-3	まちづくりと防災への安心	
事業名	主要幹線道路改良事業(匂坂新天龍幹線改良事業)		
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費(千円)	20,000
事業内容	R5	R6	R7
	完成予定	—	—
指標	事業進捗率(%) (事業費ベース)		
目標値	R5	R6	R7
	100%	—	—
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	94%	92%	B 目標値の70%から100%未満
	計画額を増額し、道路改良事業の進捗を図った。R5の事業完了に向け、用地契約を行い、道路改良を実施していく。		


No	92-4	まちづくりと防災への安心	
事業名	主要幹線道路改良事業(大藤1号線改良事業)		
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費(千円)	145,000
事業内容	R5	R6	R7
	大藤橋架替 (下部工・上部工)	道路改良工事	(県道交差点付近) 完成予定
指標	事業進捗率(%) (事業費ベース)		
目標値	R5	R6	R7
	86%	98%	100%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	59%	57%	B 目標値の70%から100%未満
	概ね計画通りの進捗が図れた。今後施行する大藤橋架替は長期間の通行止め規制となるため、地元への周知を徹底して早期供用ができるよう計画的に進める。		


No	92-5	まちづくりと防災への安心	
事業名	主要幹線道路改良事業(一色宇兵衛新田幹線改良事業)		
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費(千円)	90,000
事業内容	R5	R6	R7
			
		道路改良工事 用地買収 物件移転補償	
指標	事業進捗率(%) (事業費ベース)		
目標値	R5	R6	R7
	97%	99%	100%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	92%	90%	B 目標値の70%から100%未満
	用地買収、物件移転補償、道路改良工事を実施し計画通り進捗している。今後は、国道150号BPの進捗に併せ整備するため事業費を重点的に配分し、事業の促進を図る。		


No	92-6	まちづくりと防災への安心	
事業名	主要幹線道路改良事業(磐田山梨線改良事業)		
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費(千円)	440,000
事業内容	R5	R6	R7
			
指標	事業進捗率(%) (事業費ベース)		
目標値	R5	R6	R7
	59%	66%	73%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	52%	43%	C 目標値の70%未満
	用地買収、物件移転補償を実施した。用地取得、移転補償の対象件数が多く、事業が長期化しているため、事業の進め方を見直して事業への理解が高まる取組をする。		


No	92-7	まちづくりと防災への安心	
事業名	主要幹線道路改良事業(大立野福田幹線改良事業)		
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費(千円)	194,000
事業内容	R5	R6	R7
	道路改良工事 用地買収 物件移転補償	(水神橋側道橋下部工)	(水神橋側道橋上部工)
指標	事業進捗率(%) (事業費ベース)		
目標値	R5	R6	R7
	88%	92%	96%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	84%	82%	B 目標値の70%から100%未満
	用地買収、道路改良工事を実施した。未相続の土地が点在し、用地取得に時間を要しているため、進捗を確認するとともに改良工事が計画的に進められるよう連携する。		

No	93	まちづくりと防災への安心	
事業名	道路側溝舗装新設改良事業		
事業概要	自治会要望による生活道路整備等を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費 (千円)	600,000
事業内容	R 5	R 6	R 7
	 改良工事		
指標	工事等実施率		
目標値	R 5	R 6	R 7
	50%	50%	50%
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価
	50%	40%	B 目標値の70%から100%未満
	自治会要望工事の実施率向上に努めることができた。引き続き、効率的な整備を行い実施率向上に努める。 R4は災害の影響で思うような進捗を図ることが出来なかった。		

No	94	まちづくりと防災への安心	
事業名	幹線道路関連整備事業		
事業概要	幹線道路事業における道路整備を行う。(幹線道路整備事業に係る交付金等の特定財源採択対象外の市単独事業分：道路拡幅に伴う付帯事業)		
担当課名	道路河川課	概算事業費 (千円)	512,192
事業内容	R 5	R 6	R 7
	 幹線道路整備(舗装、改良工事面積 m ²)		
指標	幹線道路整備面積 (m ²)		
目標値	R 5	R 6	R 7
	5,000 m ²	5,000 m ²	5,000 m ²
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価
	5,000 m ²	6,757 m ²	A 目標値以上
	幹線道路の舗装老朽化に伴う整備や交付金路線の単独分の整備を実施した。今後、完成路線の供用に合わせ取合道路の通行に支障が生じないように計画的に整備をする。		

No	95	まちづくりと防災への安心		総合戦略
事業名	橋梁補修事業			
事業概要	老朽化した橋梁の延命化を図るため、長寿命化修繕計画を策定し、順次修繕整備を実施する。また、緊急輸送路を補完する防災上重要な橋梁の耐震補強工事を行う。			
担当課名	道路河川課	概算事業費(千円)	1,189,000	
事業内容	R5	R6	R7	
			橋梁点検 修繕工事 耐震工事	
指標	①予防保全及び早期措置段階修繕橋梁数(累計) ②緊急輸送路を補完する防災上重要な橋長15m以上の橋梁耐震化率(R4から)			
目標値	R5	R6	R7	
	①35橋 ②9%	①48橋 ②14%	①59橋 ②19%	
実績(R4)	目標値	実績値	評価	
	①23橋 ②5%	①20橋 ②5%	①B 目標値の70%から100%未満 ②A 目標値以上	
	R4は、狐塚跨橋、原新田跨橋を計画どおり実施した。R5についても継続して事業の進捗を図りたい。 R4に、第1期耐震化計画(対象17橋)における17橋目の浮宮橋耐震補強工事を実施(※R3→R4繰越)。R4より、第2期計画(対象11橋)に移行し、緊急輸送路を補完する防災上重要な橋梁の耐震化を図る。その後においても重要度の高い路線より補強していく。			

No	96	暮らしと健康の安心		総合戦略
事業名	地域公共交通推進事業			
事業概要	高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段を確保するため、デマンド型乗合タクシーを運行する。通勤通学における移動手段を確保するため、自主運行バスを運行する。			
担当課名	自治デザイン課	概算事業費(千円)	282,015	
事業内容	R5	R6	R7	
			「お助け号」全8路線の運行委託 自主運行バスの運行委託	
指標	「お助け号」の利用者数 ※R3の実績に5年間継続して前年比1.05			
目標値	R5	R6	R7	
	40,280人	42,294人	44,408人	
実績(R4)	目標値	実績値	評価	
	40,189人	44,013人	A 目標値以上	
	デマンド型乗合タクシー「お助け号」について、目的地の追加や増便などの利便性の向上を図った。引き続き、制度周知や利便性の向上に努め、利用促進を図る。また、通勤通学における移動手段を確保するため、自主運行バスを運行する。			

No	97	暮らしと健康の安心		総合戦略
事業名	民間バス事業者支援事業			
事業概要	市民の通勤通学の足となるバス路線の確保・維持を図るため、民間バス事業者に対し補助金を交付する。			
担当課名	自治デザイン課	概算事業費 (千円)	258,576	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	 <p>バス運行に係る欠損額の一部を補助 路線バス利用促進に係る施設整備費用等の一部を補助</p>			
指標	補助系統数			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	19 本	19 本	19 本	
実績 (R 4)	目標値	実績値	評 価	
	6 本	6 本	A 目標値以上	
	地域住民の交通の利便を確保するため、路線バス6系統を対象に補助金を交付した。また、本市の交通政策の指針となる地域公共交通計画を策定した。R5以降はこの地域公共交通計画に基づく施策を展開して民間バス路線の維持を図る。			

基本施策 3 良好な住環境の整備

施策の内容

- (1) 良好な住環境を創出します
- (2) 安定した市営住宅の供給を推進します
- (3) 公園の整備と緑化を推進します
- (4) 空き家対策を推進します


実施計画事業

No	98		まちづくりと防災への安心	
事業名	新貝土地区画整理支援事業			
事業概要	新貝地区の土地利用の促進を図り、御厨駅を中心とした良好な市街地を形成するため、新貝土地区画整理事業（組合施行）に対し支援を行う。 事業期間：H17～R7 施行面積：40.4ha			
担当課名	都市整備課	概算事業費（千円）		14,457
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	組合事業の支援 市単独補助金の交付 換地処分事務	組合事業の支援 市単独補助金の交付 清算金(交付、徴収)事務 解散認可申請	組合事業の支援(事業完了予定)、 清算金(交付、徴収)事務、解散総会 ～組合清算	
指標	事業進捗率（組合事業費ベース） ※組合事業費累計額÷組合総事業費（事業計画書上の総事業費 7,848 百万円） ※県事務費及び借入利子償還金を含み、地区外事業費は除く。			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	99%	99%	100%	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	97%	97%	A 目標値以上	
	組合事業支援としては、懸案事項であった御厨駅北口の約 1,600 坪の保留地を売却することができたことが成果として挙げられる。 これに伴い、R 5.10 月を目標に換地処分登記の手続きを進めていく。換地処分の際には、新貝土地区画整理事業区域内の住所が変更されることから、この移行処理がスムーズに進むように関係機関との調整を図っていく。			

No	99		まちづくりと防災への安心	総合戦略
事業名	鎌田第一土地区画整理支援事業			
事業概要	鎌田地区の土地利用の促進を図り、御厨駅を中心とした良好な市街地を形成するため、鎌田第一土地区画整理事業（組合施行）に対し支援を行う。 事業期間 H21～R10 施行面積 25.2ha			
担当課名	都市整備課	概算事業費（千円）	1,985,978	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	組合事業の支援 県への負担金の納入 都市再生区画整理事業等の補助金 交付 跨線橋撤去工事 新設跨線橋の設計 地区外調整池等の設計	組合事業の支援 県への負担金の納入 都市再生区画整理事業等の補助金 交付 跨線橋撤去工事 地区外調整池土地購入	組合事業の支援 県への負担金の納入 都市再生区画整理事業等の補助金 交付 新設跨線橋の協定外工事（組合への支援） 地区外調整池の工事	
指標	事業進捗率（組合事業費ベース） ※組合事業費累計額÷組合総事業費（事業計画書上の総事業費 9,353 百万円） ※借入利子償還金を含み、地区外事業費は除く			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	58%	65%	70%	
実績 (R 4)	目標値	実績値	評 価	
	55%	50%	B 目標値の 70%から 100%未満	
	<p>組合事業支援としては、懸案事項であった長期的資金計画を作成し、組合役員と共有することができたことやR3に、新型コロナの影響で開催できなかった住民説明会を行うことができたことが成果として挙げられる。しかし、繰越工事の進捗と移転補償契約の遅れからR4の工事発注時期が遅くなってしまったため、余裕を持って事業を組み立てていくことが今後の課題である。</p> <p>また、既設の三ヶ野新貝跨線橋の撤去事業については地域住民や隣接する神明中学校の協力を得て順調に進んでいる。</p>			

No	100	暮らしと健康の安心	
事業名	市営住宅施設管理事業		
事業概要	市営住宅の計画的な修繕・改修を実施し、長寿命化を図る。また、老朽化した住宅の計画的な用途廃止を実施する。		
担当課名	建築住宅課	概算事業費(千円)	281,199
事業内容	R5	R6	R7
	北野団地屋根外壁改修工事(2号棟) 二番町団地屋根外壁改修工事(2号棟) 東新屋団地解体工事 (8棟56戸、集会所) 用途廃止に伴う住替え移転3戸 (小島・大藤)	北野団地屋根外壁改修工事(3号棟) 二番町屋根外壁改修工事(3号棟) 小島団地解体工事 (9棟40戸、集会所) はまぼう屋根外壁設計 用途廃止に伴う住替え移転4戸(大藤)	はまぼう団地屋根外壁改修工事(A棟) 大藤団地解体工事(1棟5戸) 用途廃止に伴う住替え移転4戸(大藤)
指標	管理戸数		
目標値	R5	R6	R7
	425戸	385戸	380戸
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	481戸	481戸	A 目標値以上
	市営住宅ストック再編計画に基づき小島団地5戸、東新屋団地4戸全ての住替え移転を実施するとともに小島団地8戸を廃止した。 北野団地1号棟及び二番町団地1号棟の屋根・外壁改修工事を実施した。 今後も、計画的な修繕・改修を実施し、長寿命化を図るとともに、老朽化した住宅の計画的な用途廃止を実施する。		

No	101	暮らしと健康の安心	
事業名	公園施設長寿命化事業		
事業概要	公園施設長寿命化計画に沿って、老朽化した公園施設(遊具等)の改修を計画的に行う。		
担当課名	都市整備課	概算事業費(千円)	149,000
事業内容	R5	R6	R7
	竜洋昆虫自然観察公園 複合遊具改修ほか	豊田ラブリバー公園	豊田森下水神公園 複合遊具改修
指標	長寿命化計画対象公園39のうち、遊具等の更新・撤去等を実施した公園数(累計)		
目標値	R5	R6	R7
	8公園	9公園	15公園
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	5公園	6公園	A 目標値以上
	竜洋豊岡公園、福田第一公園、富士見公園の老朽化した遊具を撤去し計画どおりに更新した。		


No	102	まちづくりと防災への安心		総合戦略
事業名	空き家対策事業			
事業概要	危険空き家等の除却への支援及び既存住宅取得等補助制度の実施により、空き家の増加を防ぐとともに、移住・定住の促進を図る。			
担当課名	建築住宅課	概算事業費 (千円)	226,101	
事業内容	R 5	R 6	R 7	
	 <p>既存住宅取得等事業費補助金の交付 危険空き家等除却事業費補助金の交付 空き家調査・指導等 空き家バンク事業</p>			
指標	①既存住宅取得等事業費補助金の交付件数 ②危険空き家等除却事業費補助金の交付件数			
目標値	R 5	R 6	R 7	
	①60 件 ②10 件	①60 件 ②10 件	①60 件 ②10 件	
実績 (R4)	目標値	実績値	評 価	
	①23 件 ②20 件	①41 件 ②11 件	①A 目標値以上 ②C 目標値の 70%未満	
	<p>(リフォーム) 目標を大きく上回る申請件数となった。引続き事業を実施し、空き家の有効活用及び新たな定住者の確保を図る。 (除却) R4末で 106 件の危険空き家があるが、経済的な問題だけではなく、相続等に問題を抱えており、目標通りの補助金交付ができなかった。今後は、所有者の責務に働きかける内容に見直し、危険な空き家の除却の推進を図る。</p>			


基本施策 4 水道水の安定供給と下水道の整備


施策の内容


- (1) 上下水道の経営基盤を強化します
- (2) 水道施設の災害対策を推進します
- (3) 下水道の未普及対策と施設の耐震化・長寿命化を推進します
- (4) 合併処理浄化槽設置を推進します


実施計画事業

No	103	まちづくりと防災への安心	
事業名	老朽管更新事業		
事業概要	水道管の老朽化による水道事故の防止及び管の耐震化を図る。		
担当課名	上下水道工事課	概算事業費(千円)	2,877,730
事業内容	R5	R6	R7
	 <p>調査・実施設計 老朽管更新工事(管路耐震、老朽管更新、漏水対策)</p>		
指標	老朽管の更新(耐震化)延長		
目標値	R5	R6	R7
	17 km	17 km	17 km
実績(R4)	目標値	実績値	評価
	14.1 km	9.6km	C 目標値の70%未満
<p>口径300mm以上の基幹管路の耐震化は、R4で完了したが、管路全体の進捗は、計画通りとならなかった。 今後は、限られた事業費の中で更新速度を上げる必要があるため、管種の変更やダウンサイジング等のコストダウンを図り、計画的に更新を進めていく必要がある。</p>			


No	104	まちづくりと防災への安心		総合戦略
事業名	下水道施設総合地震対策事業			
事業概要	震災時に緊急輸送路等の交通機能確保や下水道流下機能確保のため、下水道施設耐震対策指針の改定(平成9年)以前に整備した下水道マンホール等について、液状化対策(浮上防止)等を実施する。			
担当課名	上下水道工事課	概算事業費(千円)	259,950	
事業内容	R5	R6	R7	
	 下水道マンホールの浮上防止対策 マンホール管口の耐震化(可とう化)工事			
指標	計画数量(耐震化数量)に対する進捗率			
目標値	R5	R6	R7	
	80%	90%	100%	
実績(R4)	目標値	実績値	評 価	
	41%	70%	A 目標値以上	
	R4は、総合地震対策計画(第2期R3~R7)2年目であり、補助金を要望額以上に確保できたため、計画を上回る結果となった。			

No	105	まちづくりと防災への安心		
事業名	磐南処理区公共下水道施設整備事業			
事業概要	磐南浄化センターまでの管渠整備を行う。 ・全体計画整備面積4,070ha(S56~R10) ・事業計画整備面積3,603ha(H30~R6) ・R4年度末時点 整備面積3,115ha			
担当課名	上下水道工事課	概算事業費(千円)	2,997,680	
事業内容	R5	R6	R7	
	 管渠実施設計 管渠工事			
指標	面積整備率 ※当該年度整備面積/事業計画面積			
目標値	R5	R6	R7	
	88%	89%	90%	
実績(R4)	目標値	実績値	評 価	
	87%	86.4%	B 目標値の70%から100%未満	
	家屋間距離が長くなったことで、目標値を下回る結果となったが、今後は、整備面積が減少すると考えられるため、目標値の下方修正も検討が必要である。 R8を概成目標としているが、R9以降は国の補助金が交付されなくなる可能性があることから、早期整備が必要である。			

No	106	まちづくりと防災への安心	
事業名	豊岡処理区公共下水道施設整備事業		
事業概要	豊岡クリーンセンターまでの管渠整備を行う。 ・全体計画整備面積 315ha (H6~R10) ・事業計画整備面積 298ha (H30~R6) ・R4年度末時点 整備面積 285ha		
担当課名	上下水道工事課	概算事業費 (千円)	36,300
事業内容	R 5	R 6	R 7
	 管渠工事		
指標	面積整備率 ※当該年度整備面積/事業計画面積		
目標値	R 5	R 6	R 7
	96%	96%	97%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	95%	95.6%	A 目標値以上
	目標値を上回る結果となったが、R4をもって主要な管路整備が完了し、今後は整備面積が減少すると考えられるため、目標値の修正を検討していきたい。		

No	107	まちづくりと防災への安心	
事業名	公共下水道磐南浄化センター施設整備事業		
事業概要	磐南浄化センターの耐震化及び更新工事を行う。 ・事業計画：処理区域 3,603ha ・処理人口：135,370人		
担当課名	上下水道工事課	概算事業費 (千円)	631,000
事業内容	R 5	R 6	R 7
	 ポンプ棟・管理棟・送風機棟・用水棟・汚泥濃縮棟の耐震と更新に係る耐震診断、実施設計及び工事		
指標	磐南浄化センター施設の耐震化率		
目標値	R 5	R 6	R 7
	64%	64%	64%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	61%	62%	A 目標値以上
	磐南浄化センターの施設の耐震化は、施設更新に併せて行っている。R4の工事は、管理棟の耐震補強、流入ゲート更新を発注した（完成はR5）。委託はポンプ棟の耐震、防食の設計業務を行った。R5以降も計画的に事業進捗を図っていく。課題は施設更新や耐震化に充当する社会資本総合交付金の確保となる。		

No	(新規)108	まちづくりと防災への安心	
事業名	公共下水道マンホールポンプ整備事業		
事業概要	マンホールポンプの機械・電気設備の更新工事を行う		
担当課名	上下水道工事課	概算事業費(千円)	233,911
事業内容	R5	R6	R7
	更新数 3箇所	更新数 11箇所	更新数 9箇所
指標	ストックマネジメント計画に基づくマンホールポンプ更新数		
目標値	R5	R6	R7
	3箇所	11箇所	9箇所

No	109	暮らしと健康の安心	
事業名	合併処理浄化槽補助事業		
事業概要	下水道事業計画区域及び農業集落排水処理区域を除く地域で、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止と行政サービスの均衡を図るため、市が浄化槽の設置者に対して設置に要する経費の一部を支援する。		
担当課名	上下水道総務課	概算事業費(千円)	149,981
事業内容	R5	R6	R7
	 合併処理浄化槽設置補助金の交付		
指標	浄化槽設置整備費補助金交付件数		
目標値	R5	R6	R7
	100基	100基	100基
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	90基	75基	B 目標値の70%から100%未満
	R4は75件、24,900千円の補助金を交付した。 補助制度の見直しを行い、R5から、単独処理浄化槽及びびくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換について設置費に加え撤去費と宅内配管工事費を補助する。 戸別訪問等実施することで転換促進を図り、公共用水域の水質汚濁防止、汚水処理人口普及率の向上に繋げていく。		


基本施策 5 環境にやさしい社会の確立

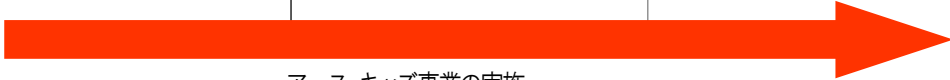
施策の内容

- (1) 地球温暖化対策を推進します
- (2) 自然環境の保全を推進します
- (3) 環境の保全を推進します
- (4) 環境教育及び環境保全活動を推進します

実施計画事業

No	110		暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	地球環境保全事業			
事業概要	第2次磐田市環境基本計画を推進し、環境保全に関する取組を進める。また、市が地球温暖化防止対策を率先して実行するとともに事業者のエコアクション21認証取得を支援する。			
担当課名	環境課	概算事業費(千円)	28,310	
事業内容	R5	R6	R7	
	第3次地球温暖化実行計画(事務事業編)の策定 エコアクション21の認証登録審査 事業者のエコアクション21認証登録の普及促進	地球温暖化対策の推進 事業者のエコアクション21認証登録の普及促進	地球温暖化対策の推進	
指標	地球温暖化対策の推進 (エコアクション21のガイドラインに適合していること)			
目標値	R5	R6	R7	
	適合	適合	適合	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	適合	適合	A 目標値以上	
	<p>エコアクション21の中間審査において適合の判定を受けることができた。</p> <p>2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、新たに脱炭素社会の実現を目指す視点を加えた第2次磐田市環境基本計画後期計画を策定した。また、市内事業者に向けて省エネ対策の啓発とともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けたセミナーを実施し、意識啓発に努めた。</p> <p>R5は、関係部局と連携し、2050年を見据えた市の施設や事務事業における地球温暖化対策を検討していく。</p>			

No	111	暮らしと健康の安心	
事業名	新エネルギー・省エネルギー設備普及促進事業		
事業概要	温室効果ガス排出量を削減するため、新エネルギー・省エネルギー設備の普及促進を図る。		
担当課名	環境課	概算事業費(千円)	30,141
事業内容	R5	R6	R7
	 新エネルギー・省エネルギー設置普及促進奨励金の交付		
指標	奨励金交付件数		
目標値	R5	R6	R7
	500件	500件	500件
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	500件	540件	A 目標値以上
	R4の新エネルギー等の設置普及促進奨励金は、新たに対象設備(HEMS)を追加し、540件、9,490千円を交付した。 災害時における家庭の電源確保や地球温暖化対策に関する意識の向上により、再生可能エネルギーの設備導入の需要が増えているため、今後も事業を継続していく。		

No	112	暮らしと健康の安心		総合戦略
事業名	環境保全啓発事業			
事業概要	市民や事業者等の環境保全意識の啓発を行い、自主的な環境保全活動を促す。			
担当課名	環境課	概算事業費(千円)	16,812	
事業内容	R5	R6	R7	
	 アース・キッズ事業の実施 市民や団体が行う環境保全活動の支援 自然観察教室などの開催			
指標	アース・キッズ事業参加小学生人数 (市内小学5年生の約半数)			
目標値	R5	R6	R7	
	市内小学5年の児童数の半数以上	市内小学5年の児童数の半数以上	市内小学5年の児童数の半数以上	
実績 (R4)	目標値	実績値	評価	
	市内小学5年の児童数の半数以上	1,055人	A 目標値以上	
	市内小学5年生1,479人※の約半数に対し実施できた。 ※R4.5月1日現在の該当児童数 実施数：アース・キッズ事業17校 1,125人 加えてR4から地球温暖化対策の環境学習を中学校3校421人に実施。 市内事業所等と連携した環境学習プログラムを小学校6校、中学校2校の計741人に実施し、より多くの小中学校に啓発した。 R5は、中学生に向けたカーボンニュートラルに関する環境学習の機会を増やしていく。			

基本施策 6 快適な生活環境の確保

施策の内容

- (1) 地域社会の生活環境問題を改善します
- (2) ごみの減量化を推進します
- (3) ごみの資源化を推進します
- (4) 廃棄物の適正な処理を推進します
- (5) 火葬場及び霊園の整備と適正管理を推進します
- (6) 愛玩動物の適正飼育を推進します

実施計画事業

No	113		暮らしと健康の安心
事業名	クリーンセンター周辺環境整備事業		
事業概要	周辺環境整備等の事業推進及び既存施設の解体・跡地整備を実施する。 事業期間：H23～R7		
担当課名	ごみ対策課	概算事業費（千円）	332,776
事業内容	R5	R6	R7
	周辺整備工事（製作工）	周辺整備工事（上部工）	周辺整備工事（道路改良） 地元要望一連の工事はR7で完了
指標	周辺環境整備の計画的な事業進捗率		
目標値	R5	R6	R7
	93.6%	95.7%	100%
実績 (R4)	目標値	実績値	評価
	89.4%	89.4%	A 目標値以上
R4は、両岸において張ブロック等による護岸工を整備した。今後の取組としてR5に製作工、R6の上部工により東新居橋の架設は完了する。なお、R7において施工する周辺道路改良工事をもって地元要望の環境整備にかかる一連の工事は完了となる。			